
2012
OSAKA
INTERNATIONAL
CHALLENGE
BADMINTON CHAMPIONSHIPS
OSAKAインターナショナルチャレンジ
バドミントン選手権大会
INTERNATIONAL CHALLENGE
SAKA
BADMINTON
CHAMPIONSHIPS

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

カラダの中から
スポーツを愛する
全ての人を応援しています。

効率的なトレーニングや
試合でのベストパフォーマンスのために。
トップアスリートからスポーツ愛好家まで、
スポーツを愛する全ての人を
アミノ酸のチカラで
サポートするサプリメントです。

もっと、動ける、楽しめる。

amino VITAL® アミノバイタル®

スポーツ ニュートリション



「アミノバイタル」30本入箱



「アミノバイタル」プロ 14本入箱

認証
一般財団法人 日本アンチ・ドーピング機構の
公式認定商品です



OSAKA インターナショナルチャレンジ バドミントン選手権大会

会場：守口市民体育館（京阪電車 守口市駅前）

〒570-0038 大阪府守口市河原町9-2　TEL06-6992-8201

4/4［水］ 予選　9：00開場 10：00試合開始

4/5［木］ 1・2回戦　9：00開場 10：00試合開始

4/6［金］ 2・3回戦　9：00開場 10：00試合開始

4/7［土］ 準決勝　10：00開場 11：00試合開始

4/8［日］ 決勝　10：00開場 11：00試合開始

主　　催　(公財)日本バドミントン協会(N.B.A)
公　　認　世界バドミントン連盟(B.W.F.)
主　　管　大阪府バドミントン協会
冠 協 賛　パナソニック株式会社
特別協賛　ヨネックス株式会社
後　　援　大阪府・大阪府教育委員会
　　(財)大阪体育協会

http://www.badminton.or.jp/にて対戦カード・試合速報などをお知らせする予定です。

ごあいさつ MESSAGE: 02
大会展望 PREVIEW: 04
ロンドンオリンピック LONDON OLYMPIC: 05
注目選手 CLOSE UP!: 06
地元選手紹介 FLY HIGH!: 10
2011年大会レポート HIGHLIGHT 2011: 14
歴代優勝・準優勝者 LIST OF WINNERS 2007-2010: 20
出場予定選手 LIST OF COMPETITORS: 22
オフィシャル OFFICIALS: 24

MESSAGE

ごあいさつ【OSAKAインターナショナルチャレンジ2012に寄せて】



公益財団法人日本バドミントン協会会長

綿貫 民輔

Tamisuke Watanuki

President,
Nippon Badminton Association(N.B.A)

昨年に引き続き、世界バドミントン連盟（BWF）公認の大阪インターナショナルチャレンジ2012バドミントン選手権大会が大阪府守口市で開催できますことは本会関係者として、喜びに堪えません。

今年7月に開催されますロンドンオリンピックに出場するには、昨年5月から今年4月末までの1年間の世界ランキング・ポイント数により決定されます。

昨年のこの大会では、東日本大震災の影響もあって、多くの海外選手が不参加となりましたが、今年は多くの国から選手が参加し、国内では見られない素晴らしい試合が展開されるものと期待いたします。

将来、世界を目指すジュニア選手及び観客のバドミントン愛好者には夢と希望と感動を与えることでしょう。

選手の皆様には日頃の練習の成果を十二分に発揮され、試合に勝つことは勿論ですが、各国の参加選手・役員の皆様との友好を深められることを期待致します。

終わりに、本大会開催に当たり、多大なるご支援、ご尽力を賜りました、BWF、BAC、大阪府の関係各位、協力企業関係各位の皆様に感謝申し上げまして、ご挨拶と致します。

It is the greatest pleasure for us to be able to hold "the Osaka International Challenge 2012" in Moriguchi City following last year, as Badminton World Federation (BWF) sanctioned event.

The players who participate in the London Olympics Games in July are selected by BWF World Ranking points in a year from last May until this April.

This Championship in the last year, there are damages by the Great East Japan Earthquakes, and many foreign players didn't come to Japan. However, this year, I expect that the players from many countries including Japan attend this Championship and show us globally exciting games.

They also impress junior players who get at world and badminton fans with the dream and hope.

I expect that the players win the match, demonstrate the full achievement of the daily trainings, and expand international friendship and relationship.

Finally, I would like to express my sincere appreciation for BWF, Badminton Asia Confederation (BAC), members of Osaka Badminton Association, and the supporting companies who have devoted themselves to make this tournament a success.



バドミントンアジア連盟会長

籾井 勝人

Katsuto Momii

President,
Badminton Asia Confederation(B.A.C)

The Challenge series have always been one of our Confederation's highly supported events. They form part of our initiative to develop young promising players to gain experience, playing on the international stage among their peers.

I congratulate the President and Members of the Osaka Badminton Association and the Nippon Badminton Association for their continued support of this Series.

My thanks are also due to Panasonic Corporation for working alongside the Japanese badminton authorities to help develop and promote the sport in the region.

The Osaka International Challenge may not have the icons of the game in town but what you will see in the next five days, will be players who have travelled vast distances to share a common bond – love for the game and a desire to play the sport competitively.

On behalf of the Asian Badminton Confederation, I am delighted to send you greetings and warm wishes on the occasion of the celebration of yet another Osaka International Challenge and I wish the tournament every success.

I welcome young men and women and officials of all participating national associations and wish you a productive Championships and a pleasant stay in this lovely city.

インターナショナルチャレンジシリーズは私たちバドミントンアジア連盟の柱となるもののひとつであり、また、国際舞台でのプレイ経験を積むために若手有望選手を育成するという、私たちの取り組みの重要な一環を形成しています。

大阪府バドミントン協会、そして日本バドミントン協会の皆さまにはこの大会の継続的な開催にあたりお祝いを申し上げます。

また、地域スポーツの発展に日々努力をされている日本バドミントン界の皆さま、そして協賛をしていただいているパナソニック株式会社の皆さまに深く感謝申し上げます。

大阪インターナショナルチャレンジではバドミントンへの愛情とお互いの切磋琢磨という共通点を抱えて遠路はるばる参加している選手たちを皆さまはこの5日間でご覧になることでしょう。

アジアバドミントン連盟を代表いたしまして、大阪インターナショナルチャレンジのますますの発展と継続的な成功を心よりお祈り申し上げます。

最後に、すべての参加選手および関係者の皆さまを歓迎いたします。そして、この大会が実り多きものとなり、この美しい街での快適な滞在をお祈り申し上げます。



大阪府バドミントン協会　会長

三宅 祐司

Yuji Miyake

President,
Osaka Badminton Association

桜花爛漫と咲き乱れるベストシーズンに世界各国から強豪選手を多数お迎えし、「大阪インターナショナルチャレンジ2012」を、大阪府守口市民体育館において開催できますことは、誠に喜ばしいことであり、皆様のご来日を心より歓迎いたします。

この大会は昨年に続き6回目の開催となり、国内では9月に開催される「ヨネックスオープンジャパン」とともに、世界ランキングポイントを獲得できる大会となっています。

今年の7月にはロンドンオリンピックが開催されます。この1年間のオリンピックレースは熾烈な戦いが繰り広げられ、いよいよ今月末には出場する選手が確定します。この大会はその最後の戦いとしてポイント獲得を目指し、最高の技術を競い、多くのバドミントン愛好者に夢と感動を与えてくれるものと確信しております。

昨年は3月の東日本大震災の影響もあって、多くの選手が不参加となりましたが、今年はロンドンオリンピックの年でもあり、この大会を通じて役員・選手の皆様が、国際親善と交流の輪を広げることを大いに期待し、選手の皆様には日頃の成果を十分に発揮され、熱戦を展開されることを期待しております。

本大会開催に多大なるご支援、ご尽力いただいた関係各位の皆様に感謝申し上げ歓迎の言葉といたします。

It is my great pleasure to welcome the top players from around the world to "the Osaka International Challenge 2012 " at Moriguchi Civic Gymnasium in this good season of cherry blossoms in full bloom.

This is the sixth International match following last year in Osaka. The players who participate in this Championship can earn BWF World Ranking points as well as "Yonex Open Japan" held in September in Japan.

The London Olympics will be held in July this year. The fierce competition has been unfolded among players as for this Olympics race though one year. And the participating players in the Olympics will be decided toward the end of this month. I believe that all the players here will give full play to their abilities and compete for the points in this final race. And that will give a great deal of dreams and excitement to us and all the badminton lovers.

Last year, there are damages by the Great East Japan Earthquakes in March, and many players didn't come to Japan. In this London Olympics year, I hope that the players and staffs will expand the international amity and circle of friendship through this Championship, and all the players will demonstrate enough their achievements of daily trainings and show us exciting games.

I would like to express my sincere appreciation to all the people involved for their efforts to open this Championship as a welcome tribute.



大阪府知事

松井 一郎

Ichiro Matsui

Governor,
Osaka Prefecture

「大阪インターナショナルチャレンジ2012バドミントン選手権大会」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。海外並びに全国各地から参加されます選手の皆さん、ようこそ大阪にお越しくださいました。大阪府民を代表して、心から歓迎いたします。

世界ランキングポイントが獲得できる本大会が大阪で開催されることは、府民にバドミントンの魅力を大いに伝えるとともに、数多くの熱戦が繰り広げられ、本大会がバドミントン競技の普及・振興に大いに貢献するものと期待しています。また、今年はロンドンオリンピックの開催年ということもあり、本大会が例年以上に大いに盛り上がることを期待しています。

選手の皆さん、日々積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮し、手に汗握る白熱した試合を期待しています。また、大阪にお越しいただいた各国の選手・役員の皆様と交流の輪を深められることを願っています。にぎやかな街並みや、様々な大阪の食、大阪には皆さんを魅了するものが必ずあると思います。この機会に是非大阪を堪能してください。

私も皆さんの気迫に満ちた試合から力をいただき、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

結びに、本大会の開催にご尽力された関係の皆様に対し深く敬意を表するとともに、本大会のますますのご発展と、皆様のご活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。

It gives me great pleasure to witness the holding of the OSAKA International Challenge Badminton 2012. On behalf of all the people of Osaka Prefecture, I would like to extend a warm welcome all the players from all over Japan and overseas.

This program, held in Osaka, will be able to award world ranking points to athletes. I believe that this will greatly contribute to promoting and propagating badminton as heated matches unfold, as well as to impart the appeal of badminton to the people of Osaka.

And as the London 2012 Olympic Games will also be held this year, it is my hope that this year's program will become livelier than the past tournaments.

I highly expect that every athlete will do his or her best and show the results of their hard training for this tournament, and at the same time, develop friendship with each other and promote international exchange.

I believe that Osaka has numerous fascinating attributes, such as interesting stores along the bustling streets and delicious cuisine. We hope that you will take this opportunity to enjoy Osaka.

Inspired by the athletes' enthusiasm for badminton, I am committed to aim for the realization of a society where everyone, young and old, can casually enjoy sports.

In closing, I would like to express my respect to the executive committee and other personnel for their efforts , and my best wishes for the great success of the competition. Congratulations and all the best.



PREVIEW

大阪インターナショナルチャレンジ2012　大会展望

2007年に「若い選手たちが国際大会を積む経験の場にしたい」との思いからスタートしたこの大会も今年で6回目を迎えることとなった。

昨年の5月からスタートしたロンドンオリンピックへの出場権獲得レースも残り1か月となり、ナショナルチームの多くが同日程で開催される「オーストラリアオープン」へのエントリーとなった。

したがって、今大会も昨年同様にナショナルバックアップチームなど若手中心だが、2016年のリオデジャネイロに向け、国内のライバル、そして世界に飛躍したい海外選手らとどんな戦いを見せるかが見所だ。

海外からは13カ国140名がやってくる。世界のトッププレーを間近で体感することの少ない西日本のバドミントンファンにとっては、この貴重な機会を堪能していただきたい。

では、各種目の注目選手にスポットを当てて紹介しよう。

まずは男子シングルス。昨年単複優勝を果たした**園田啓悟（トナミ運輸）**の連覇なるか。手ごわい対戦相手となるのはナショナルチームからエントリーした**和田周、山田和司、武下利一**あたりか。全日本総合で8強入りし、高校生で唯一ナショナルチームの**桃田賢斗（富岡高校）**も注目選手の一人だ。

女子シングルスは、何といっても史上最年少全日本チャンピオンの**奥原希望（大宮東高校）**だ。

チャンピオンの意地を見せ一気に頂点に立つか。一方、昨年ファイナルゲームでこの奥原選手を下し、全日本社会人を制した**髙橋沙也加（パナソニック）**は、先のオーストリア国際でも優勝し、地元大会での頂点をつかみたいという気持ちは強いはずだ。**山口茜（勝山南部中）**のプレーにも注目だ。

男子ダブルスは全日本総合3位でナショナルチームからエントリーした**廣部／数野（日本ユニシス）**を軸に展開されるか。昨年優勝の**黒瀬（トナミ運輸）**はパートナーを**銭谷（トナミ運輸）**に、園田は混合複優勝の**嘉村（トナミ運輸）**に替え共に連覇を狙う。

全日本総合8強でオーストリア国際2位の**佐伯／垰畑（日本ユニシス）**も上位進出をうかがう。

女子ダブルスは昨年決勝で不覚を取った**三木／米元（パナソニック）**に優勝の期待がかかる。

今年は地元大阪でその実力を証明したいところだ。そして、三木／米元の対抗馬と目されるのが、日本リーグで実績を積み、全日本総合8強の**久後／横山（ルネサス）**と、全日本総合では結果を残せなかったが、昨年優勝の**田中／市丸（法政大学）**だ。マレーシア国際優勝の**福万／與猶（パナソニック）**も台風の目になるか。

混合ダブルスは**嘉村（トナミ運輸）／米元（パナソニック）**が連覇を狙うが、韓国、台北など過去の優勝国からのエントリーもある。ナショナルバックアップチームを中心とした若手ペアにとっても存在をアピールする絶好のチャンスだ。

BWF世界ランキング（3月22日現在）

■男子シングルス

1	LEE Chong Wei	マレーシア
2	LIN Dan	中国
3	CHEN Long	中国
4	Peter Hoeg GADE	デンマーク
5	CHEN Jin	中国
6	佐々木 翔	トナミ運輸
7	LEE Hyun Il	韓国
8	田児賢一	NTT東日本
9	Simon SANTOSO	インドネシア
10	Du Pengyu	中国
29	山田和司	日本ユニシス
38	上田拓馬	日本ユニシス
74	坂井一将	日本ユニシス
87	園田啓悟	トナミ運輸

■女子シングルス

1	WANG Yihan	中国
2	WANG Xin	中国
3	WANG Shixian	中国
4	LI Xuerui	中国
5	Saina NEHWAL	インド
6	JIANG Yanjiao	中国
7	Tine BAUN	デンマーク
8	Juliane SCHENK	ドイツ
9	CHENG Shao Chieh	台北
10	Inthanon RATCHANOK	タイ
16	佐藤冴香	日本体育大学
19	後藤 愛	NTT東日本
23	廣瀬栄理子	パナソニック
30	三谷美菜津	NTT東日本
39	栗原文音	日本ユニシス
51	今別府香里	パナソニック
99	伊東可奈	ルネサス
100	髙橋沙也加	パナソニック

■男子ダブルス

1	CAI Yun / FU Haifeng	中国
2	JUNG Jae Sung / LEE Yong Dae	韓国
3	Mathias BOE / Carsten MOGENSEN	デンマーク
4	KO Sung Hyun / YOO Yeon Seong	韓国
5	CHAI Biao / GUO Zhendong	中国
6	Mohammad AHSAN / Bona SEPTANO	インドネシア
7	橋本博且 / 平田典靖	トナミ運輸
8	Kien Keat KOO / Boon Heong TAN	マレーシア
9	川前直樹 / 佐藤翔治	NTT東日本
10	FANG Chieh Min / LEE Sheng Mu	台北
13	遠藤大由 / 早川賢一	日本ユニシス
32	廣部好輝 / 数野健太	日本ユニシス
76	佐伯祐行 / 垰畑亮太	日本ユニシス

■女子ダブルス

1	WANG Xiaoli / YU Yang (F)	中国
2	TIAN Qing / ZHAO Yunlei	中国
3	HA Jung Eun / KIM Min Jung	韓国
4	藤井瑞希 / 垣岩令佳	ルネサス
5	前田美順 / 末綱聡子	ルネサス
6	松尾静香 / 内藤真実	パナソニック
7	Kamilla RYTTER JUHL / Christinna PEDERSEN	デンマーク
8	Greysia POLII / Meiliana JAUHARI	インドネシア
9	CHENG Wen Hsing / CHIEN Yu Chin	台北
10	JUNG Kyung Eun / KIM Ha Na	韓国
21	高橋礼華 / 松友美佐紀	日本ユニシス
47	三木佑里子 / 米元小春	パナソニック
68	市丸美里 / 田中志穂	法政大学
77	江藤理恵 / 脇田 侑	岐阜トリッキーパンダース
80	福万尚子 / 與猶くるみ	日本ユニシス
82	馬上愛実 / 下崎彩	北都銀行
84	小森美希 / 三好奈緒	北都銀行

■混合ダブルス

1	ZHANG Nan / Zhao Yunlei	中国
2	XU Chen / MA Jin	中国
3	Joachim Fischer NIELSEN / Christinna PEDERSEN	デンマーク
4	Tontowi AHMAD / Liliyana NATSIR	インドネシア
5	CHEN Hung Ling / CHENG Wen Hsing	台北
6	Thomas LAYBOURN / Kamilla RYTTER JUHL	デンマーク
7	LEE Yong Dae / HA Jung Eun	韓国
8	Peng Soon CHAN / Aik Quan TAN	マレーシア
9	Sudket PRAPAKAMOL / Saralee THOUNGTHONGKAM	タイ
10	池田信太郎 / 潮田玲子	日本ユニシス
15	佐藤翔治 / 松尾静香	NTT東日本 / パナソニック
36	橋本博且 / 藤井瑞希	トナミ運輸 / ルネサス
37	早川賢一 / 松友美佐紀	日本ユニシス
44	平田典靖 / 前田美順	トナミ運輸 / ルネサス
59	数野健太 / 高橋礼華	日本ユニシス

※最新ランキングは国際バドミントン連盟ページをご覧ください　http://www.bwfbadminton.org/page.aspx?id=14955

London Olympic 2012



昨年の5月からスタートしたロンドンオリンピックへの出場権獲得レースも残り1か月となった。ここでロンドンオリンピックの開催内容と、試合形式を詳しく見ておこう。

ロンドンオリンピック開催内容

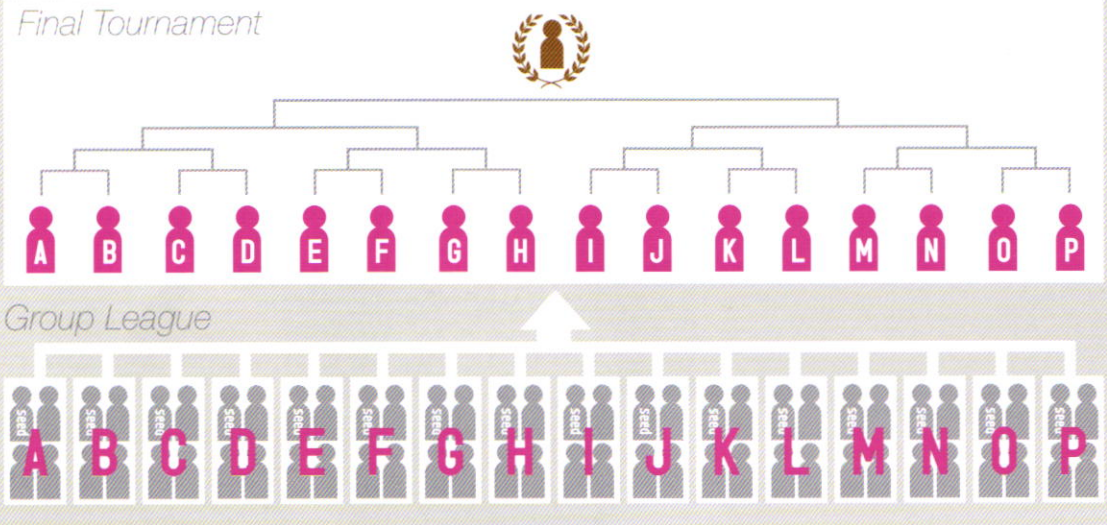
期　　間：2012年7月28日～8月5日
会　　場：ウェンブレーアリーナ
種　　目：男子単・複、女子単・複、混合
選手定数：男子85～87名、女子85～87名　合計172名
選考方法：2012年5月3日付の世界バドミントン連盟（BWF）ランキングに基づき各種目の出場選手を選出する。このBWFランキングは2011年5月2日から2012年4月29日の1年間で獲得するランキングポイントにより決定する。

スケジュール（日程が変更となる場合がある）

2011年5月2日	オリンピック選考レース開始
2012年4月29日	BWFランキング期間終了
5月3日	BWFランキングリスト発表（出場権獲得選手決定）
5月10日	開催国枠締め切り
5月31日	各国協会／NOCによる出場選手確定
7月9日	ロンドンオリンピック競技会最終エントリー

ロンドンオリンピック試合形式

ロンドンオリンピックはグループリーグと決勝トーナメントの2つのステージに分けて行う。

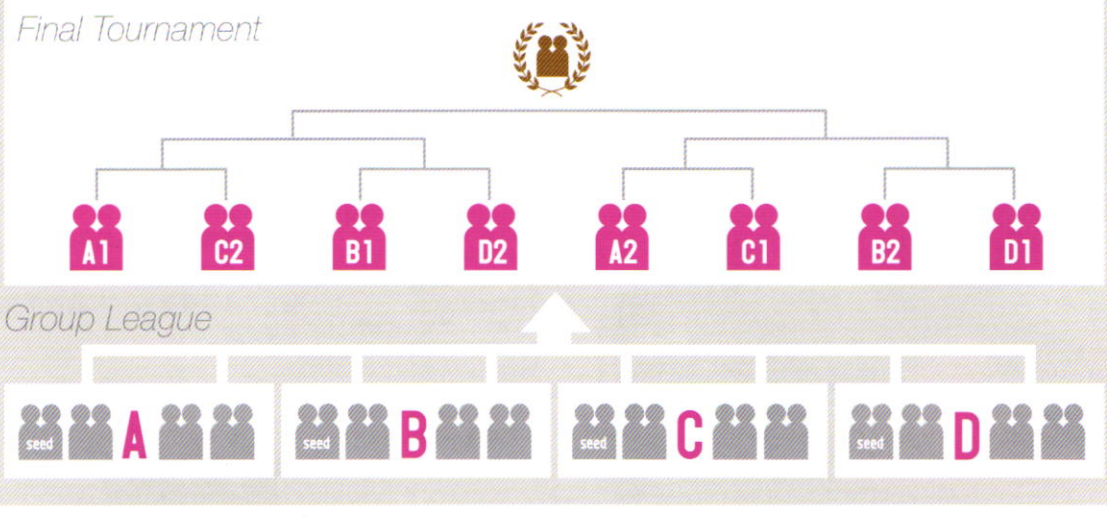


Singles

決勝トーナメント
各組の1位のみが決勝トーナメントへ進むことができる。

シード
16名を、2012年5月3日付BWFランキングにて決定する。

グループリーグ
4名ずつを16グループに分け、各グループ総当り戦を行い、各組の順位を決定する。



Doubles

決勝トーナメント
各組の1位と2位のペアが決勝トーナメントへ進むことができる。

シード
4組を、2012年5月3日付BWFランキングにて決定する。

グループリーグ
4組ずつを4グループに分け、各グループ総当り戦を行い、各組の順位を決定する。

注目選手 CLOSE UP!

昨年からトナミ運輸に移籍し、もともとのスピード、スタミナに加えパワー、アタック力がアップ。昨年のこの大会では単複優勝を飾った。近年は単複専業が主流だが、園田選手は今年も両方にエントリーし単複で連覇を狙う。



園田啓悟

【そのだ・けいご】
90年2月20日生（22歳）168cm、63kg
右利き/トナミ運輸/熊本県出身
八代第三中～八代東高～くまもとYKK AP

'07　インターハイ 単複3位
　　世界ジュニア 複8強
'09　全日本社会人 複8強
'10　大阪国際 単複8強
　　全日本総合 単3位
'11　ランキングサーキット 複優勝
　　大阪国際 単複優勝
　　全日本総合 単8強

日体大のエース。インカレで単は3年連続の準優勝に終わったが複で優勝。全日本総合は8強でナショナルチーム入りを果たした。スピードがあり鋭いカットが得意ショット。昨年この大会で左ひざを故障しながら決勝まで進んだ渡邊とのダブルスも注目だ。



和田 周

【わだ・しゅう】
90年2月13日生（21歳）179cm、69kg
右利き/日本体育大学/埼玉県出身
埼玉栄中～埼玉栄高

'08　高校選抜 単優勝
　　インターハイ 単複優勝
'09　インカレ 単2位
'10　インカレ 単2位、複3位
'11　ランキングサーキット 複3位
　　大阪国際 複2位
　　インカレ 単2位、複優勝
　　全日本総合 単8強



桃田賢斗

【ももた・けんと】
94年9月1日生（17歳）172cm、64kg
左利き/富岡高/香川県出身
富岡第1中～富岡高3年

'06　全国小学生 単優勝
'08　全国中学校 単2位
　　全日本ジュニア 新人単優勝
'09　全国中学校 単優勝
　　全日本ジュニア 単3位
'10　全日本ジュニア 単優勝
'11　世界ジュニア 単3位
　　全日本総合 単8強

柔らかいタッチから正確なショットを繰り出すとともに、冷静なゲームメイクを武器に全日本総合では日本リーガー達を連破し8強入りを果たした。この大会でも日本のトップ選手を撃破して奥原選手とともに高校生旋風を巻き起こすか。

CLOSE UP MS Mens Singles



ジュニア世代では敵なしの勢いをそのままに、全日本総合も史上最年少記録を大幅に更新して優勝。小柄ながらリバースカットを武器とした球種の読めないショットと、我慢強くダイビングしてでも拾うラリー力で一気に日本のトップに立った。リオデジャネイロ五輪を狙う期待の星だ。

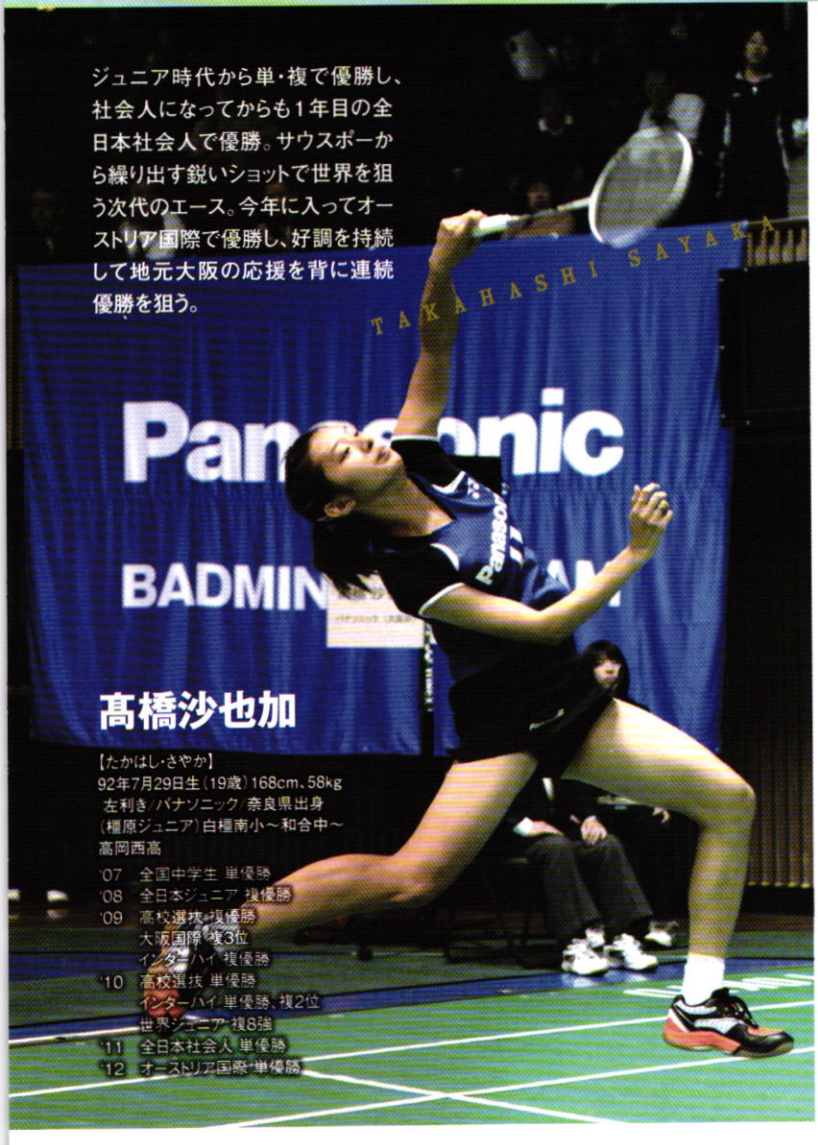
奥原希望

【おくはら・のぞみ】
95年3月13日生（18歳）154cm、50kg
右利き/大宮東高/長野県出身
仁科台中～大宮東高校

'08　全日本ジュニア新人 単優勝
'10　全日本ジュニア 単優勝
　　アジアユースU17 単優勝
'11　オーストリア国際 単優勝
　　インターハイ 単優勝
　　全日本ジュニア 単優勝
　　全日本総合 単優勝
　　カナダオープン 単3位
　　世界ジュニア 単3位

CLOSE UP WS Women's Singles

小学生の時から各年代のタイトルを総なめし、全日本総合では史上最年少で予選を勝ち上り本戦出場を果たした。本戦でもあと一歩まで世界ランク上位選手を追い込み、ナショナルバックアップチーム入りした。今大会でも同じフォームから繰り出す強烈なスマッシュとカットを武器にランキング上位者を倒したい。

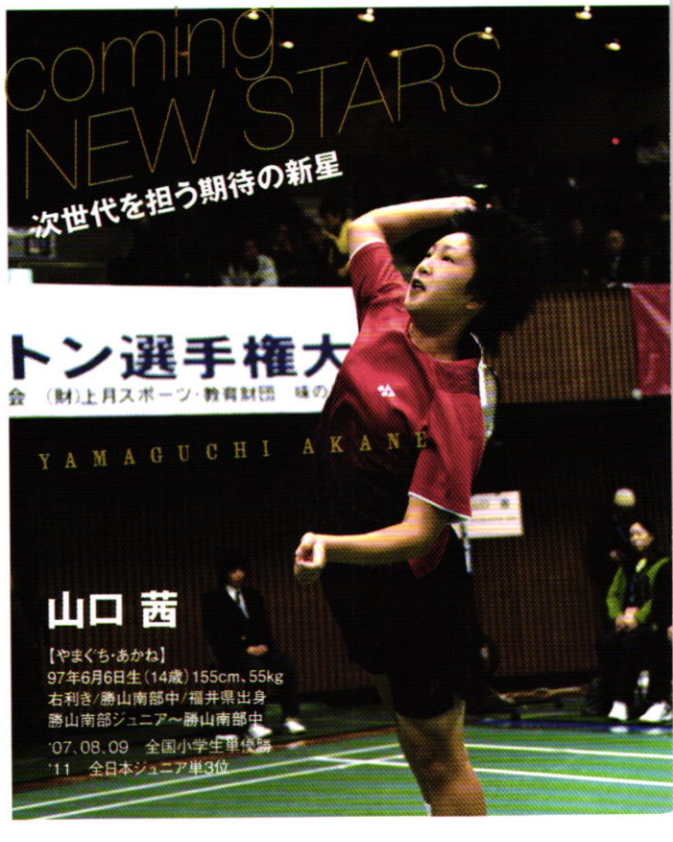


ジュニア時代から単・複で優勝し、社会人になってからも1年目の全日本社会人で優勝。サウスポーから繰り出す鋭いショットで世界を狙う次代のエース。今年に入ってオーストリア国際で優勝し、好調を持続して地元大阪の応援を背に連続優勝を狙う。

髙橋沙也加

【たかはし・さやか】
92年7月29日生（19歳）168cm、58kg
左利き/パナソニック/奈良県出身
（橿原ジュニア）白橿南小～和合中～高岡西高

'07　全国中学生 単優勝
'08　全日本ジュニア 複優勝
'09　高校選抜 複優勝
　　大阪国際 複3位
　　インターハイ 複優勝
'10　高校選抜 単優勝
　　インターハイ 単優勝、複2位
　　世界ジュニア 複8強
'11　全日本社会人 単優勝
'12　オーストリア国際 単優勝



山口 茜

【やまぐち・あかね】
97年6月6日生（14歳）155cm、55kg
右利き/勝山南部中/福井県出身
勝山南部ジュニア～勝山南部中

'07、08、09　全国小学生単優勝
'11　全日本ジュニア単3位



昨年は米元選手の肩痛の影響もあり決勝で苦杯をなめたが、後衛からの攻撃力もさらにアップした三木選手と、ダブルスのスペシャリストを目指しネット前に鋭く切れ込むプレーに自信を持つ米元選手。昨年の屈辱を晴らすべく地元大阪でこの大会初優勝を狙う。

三木佑里子& 米元小春

【みき・ゆりこ】(写真右)
89年10月1日生(21歳)166cm、58kg
右利き/パナソニック/埼玉県出身
富士中～越谷南高

'08　大阪国際 複8強
　　全日本社会人 複8強
'09　ランキングサーキット 複8強
　　全日本社会人 複3位
'10　ロシアOP 複2位
　　全日本総合 複3位
'11　大阪国際 複2位
　　オーストリア国際 複優勝
　　ニュージーランド国際 複優勝
　　ランキングサーキット 複優勝
　　マレーシア国際 複3位

【よねもと・こはる】
90年12月7日生(19歳)167cm、57kg
右利き/パナソニック/広島県出身
亀崎中～青森山田高

'09　ランキングサーキット 8強
　　全日本社会人 複3位
'10　ロシアOP 複2位
　　全日本総合 複3位
'11　大阪国際 複2位、混合複優勝
　　オーストリア国際 複優勝
　　ニュージーランド国際 複優勝
　　ランキングサーキット 複優勝
　　マレーシア国際 複3位

CLOSE UP WD Women's Doubles



久後あすみ& 横山めぐみ

【くご・あすみ】(写真右)
90年6月12日生(21歳)175cm、60kg
右利き/ルネサス/奈良県出身
若草中～四天王寺高校

'08　高校選抜 複3位
　　インターハイ 複2位
'10、11　全日本総合 複8強
'11　ポーランド国際 複2位
　　ランキングサーキット 複2位

【よこやま・めぐみ】
90年7月31日生(21歳)162cm、62kg
右利き/ルネサス/熊本県出身
日奈久中～八代白百合学園高

'08　高校選抜 複3位
'10　ランキングサーキット 混合複3位
'11　ランキングサーキット 複2位

入社4年目の同級生ペア。日本リーグで4勝をあげるなど実績を積み、安定した力で全日本総合では8強、ナショナルバックアップチーム入りを果たす。久後選手は奈良県出身・四天王寺高校(大阪)卒業で、地元の応援を背に上位をうかがう。

廣部好輝&
数野健太

【ひろべ・よしてる】(写真右)
82年8月8日生(29歳)179cm、67kg
右利き/日本ユニシス/福井県出身
進明中～藤島高～中央大学

'08、'09　全日本社会人 複優勝、
　　全日本総合 複3位、混合複2位
'09　大阪国際 複優勝
　　オーストラリア国際 複2位
'10　韓国オープン 複3位
　　デンマークオープン 複3位
　　全日本総合 複2位
'11　全日本総合 複3位

【かずの・けんた】
85年11月25日生(26歳)171cm、70kg
右利き/日本ユニシス/滋賀県出身
日吉中～比叡山高～日本大学

'06、'07　インカレ 複優勝
'08　ランキングサーキット 複優勝
'08、'09、'10　全日本総合 複2位
'09　ドイツオープン 複2位
　　全日本社会人 複優勝
'10　デンマークオープン 複3位
'11　全日本総合 複3位



2人とも別のパートナーと組んで実績を残してきたが、新たにペアを組み全日本総合で3位入賞、ナショナルチームに復帰した。この大会では廣部が09に優勝、数野は08、09と3位入賞を果たしている実力者同士だけに優勝を狙う実力は十分だ。

CLOSE UP MD Men's Doubles

黒瀬尊敏&
銭谷 翔

【くろせ・たかとし】(写真右)
85年8月23日生(26歳)172cm、76kg
右利き/トナミ運輸/富山県出身
速星中～高岡工芸高～日本体育大学

'03　インターハイ 複3位
'07　インカレ 複2位
'09　ランキングサーキット 複2位
'11　大阪国際 複優勝
　　全日本総合 複8強

【ぜにや・しょう】
88年8月19日生(22歳)180cm、70kg
右利き/トナミ運輸/大阪府出身
大東ジュニア～四條畷学園中～
東大阪大柏原高～中央大学

'06　インターハイ 単・複8強
'09　インカレ 単8強
'10　インカレ 単3位、複8強
'11　大阪国際 単2位、複3位
　　全日本総合 複8強



黒瀬選手は過去全国大会のタイトル獲得はなかったが、昨年のこの大会で園田選手とペアを組み初優勝。今年はパートナーを銭谷選手に替え連覇に挑む。一方、地元大阪の大東ジュニア出身の銭谷選手は、昨年のこの大会で単2位、複3位と活躍。父親ゆずりの長身から繰り出す角度あるスマッシュで単複優勝を狙う。

CLOSE UP XD Mixed Doubles

嘉村健士

【かむら・たけし】
90年2月14日生(21歳)170cm、63kg
右利き/トナミ運輸/佐賀県出身
八代東高～早稲田大学

'07　インターハイ 単・複3位
　　世界ジュニア 複3位
'08　インカレ 複優勝
'09　インカレ 複3位
'10　大阪国際 複8強・混合複8強
　　ランキングサーキット 複2位
　　インカレ 複優勝
　　全日本総合 複8強
'11　大阪国際 複3位・混合複優勝
　　ランキングサーキット 複優勝



得意なショットはドライブで、スピーディーな展開が持ち味。インカレを2度制し、今年から名門トナミ運輸の一員となった。この種目で米元選手と組んで連覇を狙う。ランキングサーキット複優勝の園田選手とのダブルスにも期待がかかる。

FLY HIGH!!

地元選手紹介

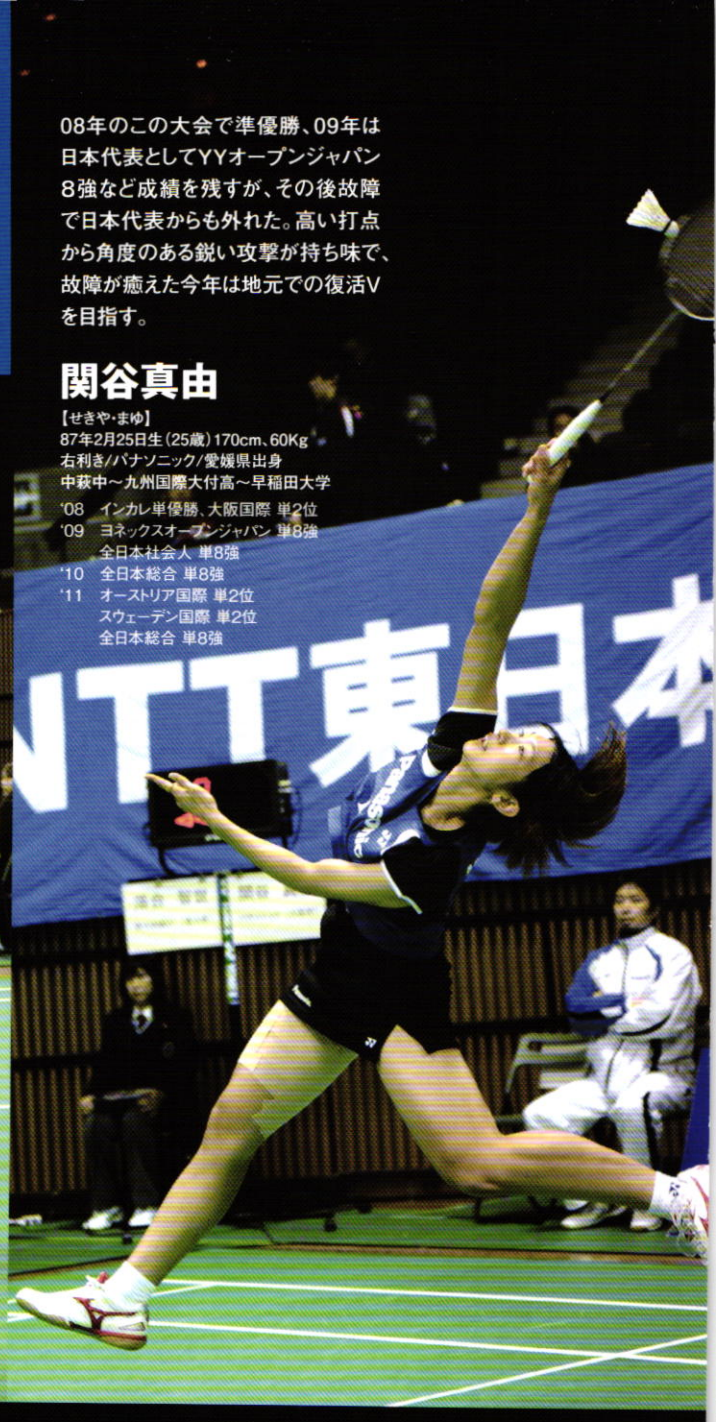


豪快なスマッシュに加えネット周りのプレーも充実してきた社会人2年目。福万選手とペアを組みマレーシア国際で初優勝を飾る。地元開催の今大会も台風の目になるか。

與猶くるみ

【よなお・くるみ】
92年12月1日生（19歳）166cm、60kg
右利き/パナソニック/愛知県出身
（はりーあっぷジュニア）中央小学校～刈谷東中～岡崎城西高

'06　アジアユースジャパン 複優勝
'08　全日本ジュニア 複優勝
'09　全日本ジュニア 複優勝、単3位
　　世界ジュニア 複8強
'10　インターハイ 複3位
'11　ニュージーランド国際 複3位
　　ランキングサーキット 複3位
　　マレーシア国際 複優勝



08年のこの大会で準優勝、09年は日本代表としてYYオープンジャパン8強など成績を残すが、その後故障で日本代表からも外れた。高い打点から角度のある鋭い攻撃が持ち味で、故障が癒えた今年は地元での復活Vを目指す。

関谷真由

【せきや・まゆ】
87年2月25日生（25歳）170cm、60Kg
右利き/パナソニック/愛媛県出身
中萩中～九州国際大付高～早稲田大学

'08　インカレ単優勝、大阪国際 単2位
'09　ヨネックスオープンジャパン 単8強
　　全日本社会人 単8強
'10　全日本総合 単8強
'11　オーストリア国際 単2位
　　スウェーデン国際 単2位
　　全日本総合 単8強



SANYOジュニアクラブ出身で社会人3年目。昨年から與猶選手とペアを組みマレーシア国際で初優勝を果たすなど順調にレベルアップしている。この大会は複で2009、2010と連続3位入賞しており今回も上位進出を果たしたいところだ。

福万尚子

【ふくまん・なおこ】
92年3月3日生（20歳）156cm、57kg
右利き/パナソニック/大阪府出身
（大東ジュニア）茨田小～楠葉東中～楠葉東高

'08　全日本ジュニア単2位
'09　高校選抜単3位
　　大阪国際複3位
　　インターハイ単・複3位
　　アジアジュニア複8強
'10　大阪国際複3位
　　世界ジュニア単3位、混合8強
　　ロンアオープン単・複3位
'11　ニュージーランド国際複3位
　　ランキングサーキット複3位
　　マレーシア国際複優勝

先進の3PL（サードパーティ・ロジスティクス）を提案します。

TONAMI
Logistics
SOLUTION
トナミ ロジスティクス ソリューション

あらゆる物流ニーズに応えるチカラ
それが、トナミ ロジスティクス ソリューション

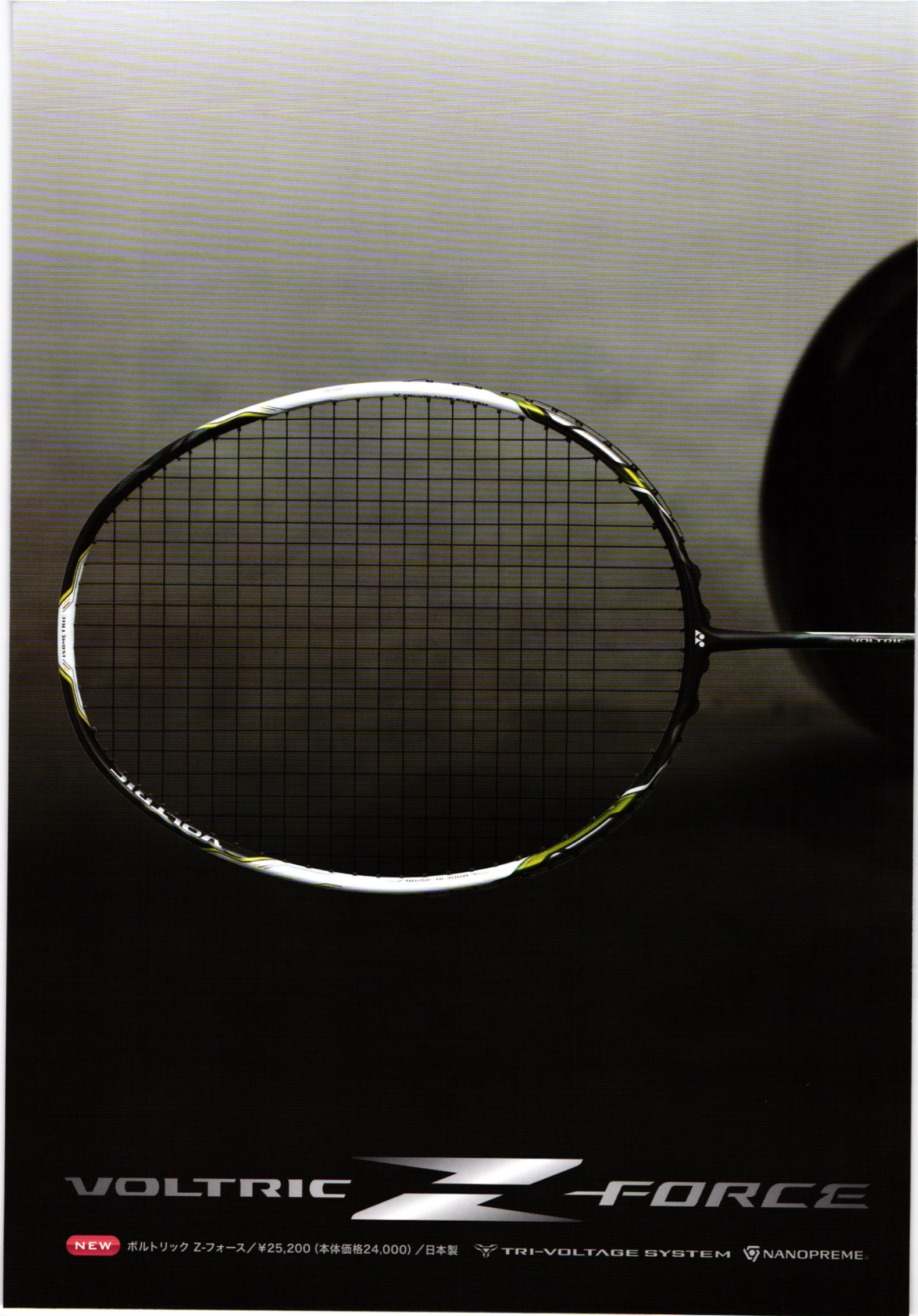
| コンサルティング機能 CONSULTING
| 情報システム機能 INFORMATION SYSTEM
| 業務運営機能 BUSINESS MANAGEMENT
| 物流ネットワーク機能 DISTRIBUTION NETWORK

TONAMI

PANTHER

トナミ運輸株式会社

http://www.tonami.co.jp


VOLTRIC Z-FORCE
NEW ボルトリック Z-フォース／¥25,200（本体価格24,000）／日本製
TRI-VOLTAGE SYSTEM
NANOPREME


超重量
HEAVYスマッシュ!
YONEX
19kgf*の衝撃。
一撃でポイントを奪う、破壊力のあるスマッシュ。
その決定打に「フォース」を与えるNEWモデル「ボルトリック Z-フォース」が誕生。
Z-フォースから放たれたスマッシュは、レシーブ時、相手ラケットになんと19kg forceの衝撃を与える。
例えるなら、重さ19kgのダンベルを手にした時の重量感に近いだろう。
超重量のHEAVYスマッシュを敵のコートへ叩き込め。
★インパクト時の衝撃力を表す数値で、19ｋｇの物体を受け止める衝撃とは異なります。／kgf：kilogram-force（重量キログラム）
WWW.YONEX.CO.JP/Z
facebook.com/YONEXBadmintonJapan
YONEX

HIGHLIGHT2011

Osaka International Challenge Badminton Championships

2011年大会レポート



4/7 1・2回戦

第5回目を迎える大阪インターナショナルチャレンジ。本日より本戦がスタートしました。今年は次代の日本バドミントン界を担う精鋭たちが終結。そこここで活気ある試合が見られました。そうした中で注目したのは、先の東日本大震災後の再出発を図った、福島県立富岡高校の選手たちでした。現在、富岡高校2年にして既にナショナルバックアップメンバーに名を連ねている桃田賢斗選手シングルス1回戦に登場しました。しかし、相手選手が試合開始早々に負傷棄権。数分間プレイしただけで2回戦進出という結果でした。

その桃田選手の話。「震災の時は遠征中だったのですが、それ以来、富岡には戻っていません。先日までは富山県高岡市のトナミ運輸で練習をさせていただいていました。大人のチームの練習を経験して、何より驚いたのは、体育館全体に張り詰めた緊張感でした。僕らの富岡高校の練習では、緊張感もありますが、楽しいところもあるから、やっぱり大人のチームの練習とは違います。ああいう緊張感の中での練習を経験して、とても良い刺激を受けました」

将来の目標は？　という問いには、桃田選手から明確な答えが返ってきました。「高校を卒業する前に、全日本総合で現王者の田児賢一選手（NTT東日本）に勝って優勝したい。そして国際大会でメダル取れる選手を目指します」

U−19ジュニア日本代表のメンバーである木村百花選手（高3）と大堀優選手（高2）はダブルスで出場。震災後は木村選手は日本ユニシス、大堀選手はパナソニックにと、それぞれ別れて練習を積んできました。2人で練習できたのは、大会前の僅かな時間だったそうですが、福万尚子&與猶くるみペア（パナソニック）に果敢に挑みました。

木村選手の話です。「選抜が中止になって、この大会が震災後の最初の公式戦です。大会に出てもいいのか悩んだりもしましたし、練習は十分ではなかったけれど、出場する以上は今の自分たちができることを精一杯やろう、2人で声を出して、元気を出して試合をしようと話し合いました」

大堀選手は、先の桃田選手同様、実業団チームでの練習に大きな刺激を受けたうです。「パナソニックでは選手の皆さんが海外遠征に出たりで、少ない人数での練習の時もあったのですが、コーチの方々からマンツーマンで教えてもらうこともできたし、廣瀬栄理子選手とも練習をさせてもらって、貴重な経験ができました」と、笑顔が浮かぶ。

富岡高校の3選手と話していて感じたことは、彼、彼女らのしっかりした言動、発せられる言葉の重さでした。日本中、いや世界中が注目する福島第1原発の事故。否応なく避難を強いられ、1か月にも満たない時間の中で、自己を見失うことなく前を見据える意思の強さに、こちらがパワーをもらいました。

富岡高校バドミントン部顧問、大堀均先生によれば、福島県内の高校では、再出発への準備が着々と進んでいるとのこと。「震災以後これまで、全国のバドミントンチーム、その関係者の方々に、生徒たちをお預かりいただき、本当にお世話になりました。おかげ様で選手たちは希望を失わず、バドミントンに打ち込めたと思います。今後は福島県の方針のもと、富岡高校バドミントン部は、ゴールデンウィーク明けを目処に、全員が猪苗代で寮生活をしながら、高校生活を再スタートさせるべく準備を進めています」

なかなか明るいニュースが聞こえてこない福島第1原発の事故ですが、そんな中で富岡高校の選手たちのバドミントンへのひたむきさは、間違いなく希望の灯りと言えるでしょう。勝ち上がった桃田選手の、明日以降の活躍、そして富岡高校バドミントン部の今後に、期待を込めて注目しましょう。

4/8 2・3回戦

各種目のベスト4が決まりました。

今大会は日本のナショナルバックアップメンバーとジュニアU−19のメンバーらとの好試合が多く見られています。特に今日は2回戦、準々決勝と進む中で、先輩たちの意地や後輩らの果敢な挑戦によって結果が左右しました。

【男子シングルス】



佐藤選手は第1シードのチュー・ハンチョウ選手を16本、16本のストレートで下しました。「この大会では落ち着いて試合ができているのが好調の原因。何より焦ってムダ打ちしなくなりました。（準決勝の相手の）園田選手にはまだ勝ったことがありませんが、調子の良い今の自分のプレイをしてチャレンジしたいと思います」

ナショナルメンバーの園田選手がナショナルBの早崎選手に、19本、15本で勝利しました。「5回目の対戦なのですが、成績は五分五分。気の抜けない相手でした。第1ゲームの序盤は先行されましたが、ここはガマンしてつないでいればチャンスは来ると思いながら試合をしていました。とにかく勝てて良かった」と語った試合後の園田選手。トナミ運輸に移籍した昨年以降、充実度は目を見張ります。ナショナルメンバーの意地を見せつけた試合でした。

【女子シングルス】

まず2回戦で注目のカードがありました。

髙橋沙也加(パナソニック)	2(22-20、17-21、21-18)1	奥原希望(大宮東高2年)

共にナショナルBメンバーで、将来を嘱望されている2人の対戦となりました。第1ゲーム、髙橋選手が先行しますが、奥原選手はブレーキの効いたカットを要所で使い、ジリジリと追いついていきます。延長となりますが、髙橋選手がエースを2本連続で決めて第1ゲームを先取しました。第2ゲームは奥原選手のゲーム。奥原選手はカットやドロップなど、多彩なショットを織り交ぜで得点を重ねました。一方の髙橋選手は、特に終盤の競り合いの場面でミスが目立ち、奥原選手にゲームを奪われました。ファイナルゲームは髙橋選手の高い集中力が際立ちました。最終的には21−18でしたが、髙橋選手が終始先行してゲームを支配しました。「負けたけれど、去年のインターハイよりは良い試合が出来たと思います。髙橋選手にリードされても、自分で流れを止めて、変えることができたし、良いリズムで戦えている場面も多かった。今日の髙橋選手は強い気持ちを感じました。今日が2回目の対戦でしたが、髙橋選手の持ち味である上からのショットへの対処法を研究して、次の対戦では勝ちたいと思います」(奥原選手)



今大会の第1シードである打田選手。2回戦、準々決勝と危な気なく勝ち上がってきました。「久しぶりに良い内容の試合で勝てています。去年は嫌な負け方の試合が続いていました。この大会では自分のやりたいプレイができて勝っている。チーム内での競争とかもありますが、今はまだ自分のことで精一杯」言われてみれば、打田選手の心からの笑顔、久しぶりに見た気がします。

樽野選手は優勝した08年の第2回大会以来のベスト4入りです。「(準々決勝の)第1ゲームは動きが悪くて、簡単に取られてしまいました(12本)。第2ゲーム以降は開き直ったわけじゃあないけれど、思い切って行こうと。同時に相手の高橋選手が若さのせいなのか、ミスが多くなり始めたので、なんとか私のリズムで戦えることができました。明日はもっと良い試合がしたい」樽野選手にも笑顔が浮かびます。けっして好調とは言えないそうですが、それでも勝ち切れるところが樽野選手の真骨頂でしょう。

昨年の総合でのベスト4入りを契機に、三谷選手の成長ぶりは見事。今大会での勝ち上がり方も素晴らしい。「最近は一日中、ずっとバドミントンのことを考えているようになりました。世界の情勢のことも気になるし。社会人になって以来、レシーブ練習をずっと続けてきて、レシーブ力が向上したと思います。拾って攻めに転じることができるようになった。とにかく今は、負けられないという気持ちがすごく強い。明日も1本、1本集中して戦います」

そして残りひとつの椅子を巡って波乱が起こりました。ナショナルジュニアメンバーの福島由紀選手(青森山田高3年)が、ナショナルBチームの野尻野匡世選手を破ったのです。1ゲームダウンからの逆転勝ちでした。第2ゲーム中盤までは完全に野尻野選手のペースかのように見えて、4強入りは確実かと思われました。ここから福島選手が驚異的な粘り強さで野尻野選手を追い詰めていきました。「試合前は相手のことをあまり意識しないよう、向かっていくことを考えていました。けっして安定感があるわけでもなく、特別スピードが速いタイプでもないと思っているので、足を使ってできるだけ粘ろうと球を追いました。第2ゲームの中盤あたりから球が見え出してしっかり拾えるようになった。ハイ、その手応えは感じていました。強い選手に勝てて、本当に嬉しい」と、福島選手の愛らしい笑顔がはじけました。

一方の野尻野選手。敗因はスタミナ切れかと思いきや……。2回戦はフルゲームの接戦。さらにダブルスにも出場していましたので、3試合目でしたから。ところが野尻野選手は、それを即座に否定しました。「スタミナが切れたとか、足が止まったとかはありませんでした。自分の心の中にある、ひとつの壁を乗り越えられなかったという試合でした。ここまでのシングルス2試合は相手(1回戦=田村千秋選手、2回戦=関谷真由選手)をしっかり見ながら試合ができていました。でも、この試合では、年下とかは意識していなかったのですが、自分が集中し切れない場面が多かった。それが今の私の大きな課題です。必ずそれを克服して、次の試合に備えたいと思います」悔しい結果だったと思いますが、冷静に自己を見直した末の話を率直に聞かせていただきました。

【男子ダブルス】



男子ダブルスは準々決勝4試合のうち3試合が日本と台湾の対戦。結果は第1シードのツァイ&ツェン組には屈したものの、日本勢は2勝1敗で、3ペアが準決勝へと駒を進めました。嘉村選手と園田選手は八代東高時代からのパートナーですが、今大会では別のパートナーと組んで出場。準決勝での対戦となりました。

【女子ダブルス】



今別府&小池ペアは東京と広島の"遠距離ペア"です。「大会の10日前くらいに今別府さんが広島に来てくれて、練習をしています。ペアでの練習量は多くないですが、それを理由に負けたくない。今日の相手、江藤&脇田ペアの脇田選手は同期でもあるので、勝ちたい気持ちがより強かった」(小池選手)「まだセンターを狙われると譲り合ったりしますが、そういうミスを引きずらなくなりました。明日は学生のペアが相手。受け身に回らず、自分たちが向かって行く気持ちで戦いたい」(今別府選手)

市丸&田中ペアは青森山田高出身。昨年度の高校選抜、インターハイの王者ペアです。「大学生になって最初の国際大会でのベスト4はとても嬉しい。自分たちの大会初日を乗り越えようと話していたので、それを達成できました」(市丸選手)「今日は良い試合ができました。準決勝に向けて気持ちをもう一度作り直して挑みたいです」(田中選手)「ナショナルBに選んでもらって、練習とか不安なことばかりですが、だんだん2人の意識も高くなってきて、今は充実しています」(市丸選手)「学校の方は履修登録もまだで、ちょっと心配なのですが、バドミントンと学生生活のメリハリをつけて、しっかり両立させたい」(田中選手)高校時代の実績は十分。準決勝では社会人ペアに果敢に挑みます。

浅原&金森ペアは選手層の厚い日本ユニシスの所属。出場大会は限られていますが、そこでしっかり結果を出しているという印象があります。「試合をしながら、簡単には崩れない、立て直せる、安定感が出てきたなと実感できています。日頃の練習の成果をしっかり試合で出し切ることが目標です」(浅原選手)「試合数が少ない分、1試合というより、1ラリー、1ラリーをおろそかにしないで、食らいつく気持ちでプレイしています」(金森選手)強くなっている秘密は? と問うと、「小宮山(元)コーチの指導のおかげです」と声をそろえた2人でした。

三木&米元ペアは今年、2月にオーストリア国際チャレンジ、先週のニュージーランド国際チャレンジと、2大会で優勝を果たしています。「オーストリアやニュージーランドにも出場していたペアがこの大会にも出ているので、そういうペアには負けたくないです。まだまだ課題は多いですが、以前よりは試合中、大きく崩れなくなった」(米元選手)「ここまで来たら、当然、タイトルを取りたい。(準決勝の相手の)ユニシスのペアは粘り強いので気持ちで負けないように」(三木選手)チーム名が変わったばかりですが、地元での大会での優勝を狙います。

【混合ダブルス】



全日本総合や社会人大会などでもお馴染みのペアが勝ち上がりました。
9日、土曜日は準決勝、計10試合が行われます。

4/9 準決勝

午前11時の試合開始を前に、ナショナルBメンバーを中心に、チャリティーサイン会が行われました。またトップ選手らのサイン入りグッズのチャリティーオークションも開催。ご参加いただいた方々には、改めて感謝いたします。
各種目の準決勝が行われました。

【混合ダブルス】

嘉村健士 & 米元小春 （早稲田大4年）（パナソニック）	2（21-17、16-21、21-18）1	埒畑亮太 & 三木祐里子 （日本ユニシス）（パナソニック）

“技巧派ペア”と“豪打派ペア”の対戦。ペアのキャリアで一日の長がある嘉村&米元ペアが競り勝ちました。

川口佳介 & 小椋しのぶ （トリッキーパンダース）（三菱電機）	2（11-21、21-14、21-17）1	黒瀬尊敏 & 横山めぐみ （トナミ運輸）（ルネサス）

川口&小椋ペアが逆転勝ち。決勝に挑みます。

【男子シングルス】

園田啓悟（トナミ運輸）	2（21-17、21-17）0	佐藤黎（日体大4年）

「これまで負けたことがないので、自信を持って試合に入れました。良い内容で勝てて良かった」園田選手の言葉を裏付けるかのような、得点差以上の開きを感じました。コートを伸び伸びと動く園田選手のフットワークの良さ、繰り出されるショットの多彩さが目立った試合となりました。

銭谷翔（トナミ運輸）	2（20-22、22-20、21-16）1	武下利一（敬和学園大4年）

試合後、銭谷選手が振り返ります。「競り合いに持ち込めれば、何が起こってもおかしくないのが今のバドミントンです。相手選手を格上だとか考えず、先ず自分のプレイスタイルで戦うことを心がけました。苦しい展開の時はガマン、ガマン。何より気持ちで負けないようにと言い聞かせていました」
一方の武下選手は先週行われたニュージーランド・インターナショナルチャレンジでの優勝を受けての大会。当然、2週連続優勝はターゲットだったはずです。しかし……。「大会に優勝した直後、次のトーナメントに出場するというのが初めての体験でした。疲れは正直言うとありました。大会を通じて自分の思うような良いペースで戦うことができなかった。でもナショナルメンバーはそういう状況でも勝っているわけですから、自分もそうならないといけないと、試合が終わってから少し時間が経って思っています」



【女子シングルス】

樽野恵選手（NTT東日本）	2（25-23、21-19）0	打田しづか選手（日本ユニシス）

今大会での好調さに自信を深めていた打田選手。一方、勝ち上がりながらコンディショニングに不安をのぞかせていた樽野選手。しかしそんな両者の思惑とは全く異なる結果となりました。第1ゲーム、打田選手は好調さを見せつけ、20−15と早々にゲームポイントを奪います。しかし、ここでそれまでのアグレッシブな動きが影を潜めてしまうと、まさかの20オールに追いつかれます。試合の流れを手放してしまいました。
勝った樽野選手、試合後、驚きを隠せませんでした。「足のつけねに痛みがあって、なんとかプレイしている状態。私の状態というより、相手のミスに助けられながら勝っているだけです」しかし勝負どころで見せる切れのあるショットはさすがと感じました。
明日は2008年第2回大会以来、2度目の優勝に挑みます。

三谷美菜津選手（NTT東日本）	2（21-16、21-16）0	福島由紀選手（青森山田高3年）

三谷選手は女子シングルス出場選手の中で、ただ1人のナショナルメンバー。その肩書きは伊達ではありませんでした。抜群の安定感です。
「年下だけど、やりづらさとかは意識しないようにしました。福島選手は粘ってくるし、クリアとか良いショットがたくさんありました」
ベスト4で屈した福島選手。「三谷選手のレシーブが全然上がらなくて、スマッシュを打たせてもらえませんでした。でもこの大会は本当に良い経験になりました。高校生活最後の年なので、ひとつひとつの大会で悔いの残らない試合をしていきたいです」
決勝戦はNTT東日本のチームメイト対決です。
「これから足のケアをして、試合までどこまで回復するかです」と、ややはぐらかせた樽野選手。対する三谷選手は手応えを隠しませんでした。「ミスをしないで、ラリーをして、自分のプレイができれば結果はついてくると思います」

【男子ダブルス】

和田周 & 渡邊達哉 （日体大3、2年）	2（20-22、22-20、21-16）1	ツァイ・ツーシン & ツェン・チンチョン （台湾）

ファイナルゲームの中盤、9オールから和田&渡邊ペアが9連続得点で一気に抜け出し勝負を決めました。素晴らしいスパートでした。

黒瀬尊敏 & 園田啓悟 （トナミ運輸）	2（21-17、21-12）0	嘉村健士 & 銭谷翔 （早稲田大4年）（トナミ運輸）

ダブルスプレイヤーとしての実績、或いはコンビネーションの妙で黒瀬&園田ペアが一枚上手の試合をしました。園田選手は単複2冠に挑むことになります。

【女子ダブルス】

市丸美里 & 田中志穂 （法政大1年）	2（21-18、21-17）0	今別府靖代 & 小池温子 （ヨネックス）（広島ガス）

2ゲーム共、ただの一度もリードを許すことなく市丸&田中ペアが完勝しました。予想外と言っては失礼ですが、若い2人が今別府&小池ペアの持ち味を完璧に封じ込めた一戦でした。
「相手は経験豊富だし、強いスマッシュを打ってくる、破壊力のあるペア。試合前は警戒していました。今別府選手は高校の先輩ですが、圧されないように向かって行く気持ちを持ち続けました」（市丸選手）「しっかり守って、とにかくレシーブした球を上げないこと。それを心がけてプレイしました。試合前に想定していたことができたことが勝因です」“球を上げないこと”は2人共コメントしてくれました。意識が共通しており、それをきちんと実現したこと。この春大学生になったばかりのペアですが、素晴らしい試合を見せてくれました。
一方、敗れた今別府&小池ペアですが、昨日、江藤理恵&脇田侑（トリッキーパンダース）を破った時の勢いが影を潜め、ミスも多い試合となりました。

三木祐里子 & 米元小春 （パナソニック）	2（21-18、10-21、21-14）1	浅原さゆり & 金森裕子 （日本ユニシス）

両ペアの試合後のコメントが印象的でした。
「第1ゲーム、ファイナルゲーム、どちらも終盤でサービス回りから崩すことできました」（三木選手）「勝負どころでサービス回りでのミスが多く、そこで逆転を許してしまいました。サービス回り、特に3本目は私たちの課題でもあります」（浅原選手）
序盤から中盤にかけては浅原&金森ペアが主導権を握っていました。しかし終盤、明らかに後手に回ります。ナショナルBメンバーで、国際大会出場経験も多い三木&米元ペアは、サービス回りの重要さが身にしみていますし、対処法が次第に身についてきたと言います。対する浅原&金森ペアはなかなか試合数をこなせていない。その経験値の差が出た試合となりました。「2ゲームは動きが止まってしまった」（米元選手）そうですが、それを修正する力も少しずつついてきました。三木&米元ペアはインターナショナルチャレンジ大会での2週連続優勝を目指すこととなります。

さて、明日はいよいよ最終日です。試合開始前には、先の全英オープンで準優勝を果たした廣瀬栄理子選手（パナソニック）のチャリティーサイン会が開催されます。同時にチャリティーオークションでは、トップ選手らが貴重なサイン入りグッズを提供してくれています。是非、会場に足を運んで、チャリティーにご参加下さい。



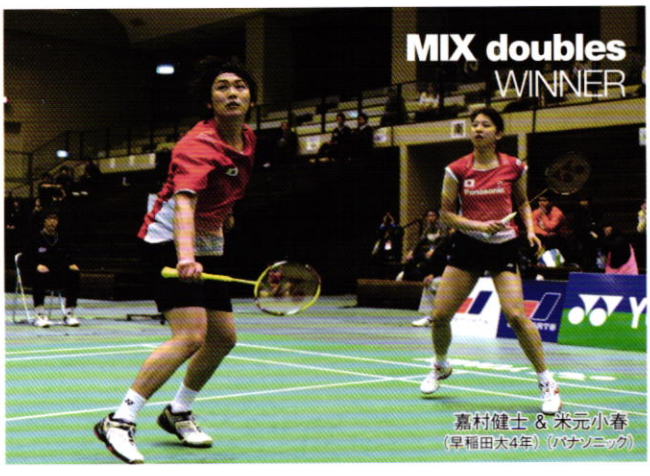
4/10 決勝

大会最終日。各種目の決勝戦が行われました。

試合開始前には、場内で、先の全英女子シングルス準優勝を果たした廣瀬栄理子選手をはじめとした、パナソニックバドミントンチームを中心に、ナショナルBチーム有志らが、チャリティーサイン会を開催されました。

目の前で選手からサインがもらえるサイン会は、バドミントンの大会では恒例行事でもありますが、今大会でも盛況で、多くの方々が列を作っていました。同時に、今大会は残念ながら不出場だったナショナルチームの廣瀬選手、田児賢一選手（NTT東日本）、池田信太郎選手&潮田玲子選手（日本ユニシス）、そして、この日決勝戦を迎えたオーストラリア・オープン女子ダブルスで優勝した松尾静香&内藤真実ペア（パナソニック）らの、サイン入りグッズのチャリティーオークションも行われました。寄せられた義援金は日本赤十字社を通じて、東日本大震災復興のために寄付させていただきます。ご協力、ありがとうございました。

さて、決勝戦です。



【混合ダブルス】

嘉村健士 & 米元小春 （早稲田大4年）（パナソニック）	2（21-18、21-7）0	川口佳介 & 小椋しのぶ （トリッキーパンダース）（三菱電機）

第1ゲームは「川口選手の速いドライブに上手く対応できなかった」（嘉村選手）ために接戦となりました。しかし「前に落として、返ってきた球を後ろから攻める」（同選手）というセオリーでリズムをつかむと、17−18から3ポイント連取で、このゲームを奪います。第2ゲームに入ると嘉村&米元ペアが一気にスピードアップ。逆に川口&小椋ペアが対応できず、ポイントが離れました。ペア結成3年目。先週のニュージーランド国際チャレンジ準優勝の悔しさを晴らす、国際大会初優勝を成し遂げました。

「ニュージーランドでは決勝で負けて悔しい思いをしました。同じカテゴリーの、この大会で優勝できたのでホッとしています」（嘉村選手）「これまで海外での大会にも出場して、経験を積ませてもらったので、優勝という結果を残せて嬉しいです」（米元選手）



【男子シングルス】

園田啓悟（トナミ運輸）	2（18-21、21-16、21-16）1	銭谷翔（トナミ運輸）

ナショナルチームの園田選手がBチームの銭谷選手に意地を見せました。試合は銭谷選手の「気持ちで負けないこと」との昨日の言葉どおり、気迫溢れるプレイを見せ、主導権を握り、第1ゲームを奪います。園田選手は銭谷選手を崩したかに見えても、最後の1本でミスという、惜しい展開で失点を重ねました。第2ゲームに入ると園田選手がスピードを上げ、「自分から仕掛けていきました」（園田選手）。そんな園田選手に対し、銭谷選手は「やや圧されてしまいました」。第1ゲームではあまり見られなかったミスが銭谷選手に出て、決着はファイナルゲームに持ち込まれることとなりました。そのファイナルゲーム。園田選手、6−1とスタートダッシュをかけます。「序盤にリードできたことでペースを握ることができました」（園田選手）一時は銭谷選手に追撃も許しますが、序盤のアドバンテージを活かし、園田選手が今大会の初優勝を成し遂げました。「ナショナルチームの一員としての意地もあったので、優勝できて素直に嬉しいです」

準優勝の銭谷選手。「勝負どころで、やや受け身になって、相手に、先に仕掛けられたことが敗因だと思います。相手の球に対応しようとすると、展開が難しくなるのは分かっていたのですが」

【女子シングルス】

三谷美菜津（NTT東日本）	2（21-10、21-10）0	樽野恵（NTT東日本）

ナショナルチームの三谷選手の圧勝となりました。樽野選手は傷めていた左足付け根の痛みをこらえながらのプレイ。時おり樽野選手の切れ味鋭いショットも見られましたが、この試合では単発で終わってしまいました。三谷選手は安定感を増した確実なショットで得点を重ねました。三谷選手、インターナショナルチャレンジ以上のカテゴリーの大会では初めての優勝です。

「先輩の調子は気にせず、集中力を切らさず、自分のプレイをすることに徹しようと試合に臨みました。まだまだ課題は多いのですが、この試合に関しては最後の1ポイントまで集中力を切らさずプレイできたことは収穫です」（三谷選手）「試合を重ねるごとに痛みがひどくなって、最後は悔しい試合をしてしまいました。しっかり治して次の大会に備えます」（樽野選手）



【女子ダブルス】

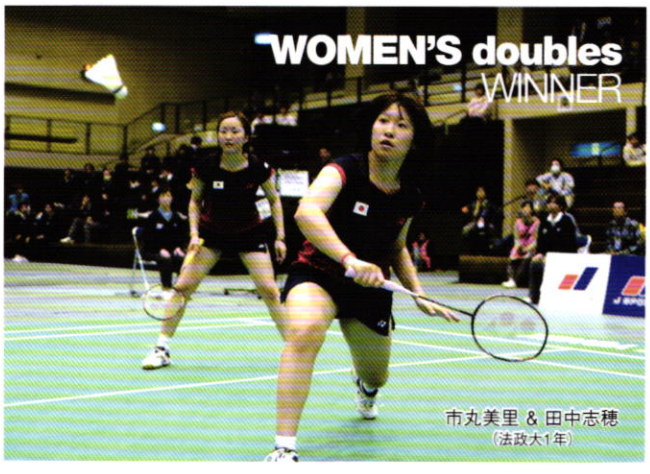
市丸美里 & 田中志穂 （法政大1年）	2(19-21、21-18、21-14)1	三木祐里子 & 米元小春 （パナソニック）

大学1年生になったばかりの若いペアが、抜群のゲームマネジメントを見せて国際大会初優勝を果たしました。第1ゲームは、肩のテーピングが目立つ米元選手に球を集めます。その理由を市丸、田中両選手は声をそろえて明かしてくれました。「三木選手の強打は警戒しなければならないので、米元選手に打たせるようにしました」

しかし第1ゲーム終盤、三木&米元ペアがサービス回りの攻防で優位に立ち、逆転で奪いました。1ゲームを失っても、市丸&田中ペアに動揺は見られませんでした。新たな戦略を用い始めます。レシーブを相手ペアのバック奥、深いところを狙ったのです。後衛を務める三木選手はラウンド気味のスマッシュを強いられ、威力が軽減されてしまいました。「特に試合中に話し合ったわけではないです。アイコンタクトで自然にそういう返球をするようになりました」さらに「2ゲーム中盤で足が止まってしまいました」（米元選手）という事態が相手ペアに起こり、俄然、市丸&田中ペアは攻勢に出ます。

ファイナルゲーム。5−7から5連続得点で優位に立つと、その流れを失うことはありませんでした。15−14と詰められますが、ここから6連続得点で勝負を決めました。勝利の瞬間、固く抱き合った2人ですが、その後は相手ペア、審判団へのあいさつもきちんとし、清々しい印象を残しました。「今日は勝つことができましたが、ナショナルBでも私たちの実力は下の方なので、どんどん先輩に勝てるようになりたいです」（田中選手）「私たちは敢えて進学という進路を選択したので、"大学に行って弱くなった"と言われないよう、しっかり練習を積んで強くなりたい。国内、海外の大会で勝てるペアになりたいと思います」（市丸選手）

青森山田高で培われたハイレベルなゲームマネジメントに驚嘆させられた一戦でした。



市丸美里 & 田中志穂
（法政大1年）

【男子ダブルス】

黒瀬尊敏 & 園田啓悟 （トナミ運輸）	2(21-14、21-14)0	和田周 & 渡邊達哉 （日体大3、2年）

2ゲームとも競ったのは中盤まで。そこから一気に黒瀬&園田ペアが連続得点を重ねて抜け出しました。試合巧者ぶりを見せた黒瀬&園田ペアの強さが際立った試合でした。「シングルスをしていても、ダブルスから得られることは多いです。まだまだ若いので、もうしばらく単複兼ねて大会に出場していきたい。2冠を取れて嬉しいのひと言です」園田選手、ナショナルチームの誇りを見せ付け、充実感に満ちた大会となりました。



黒瀬尊敏 & 園田啓悟
（トナミ運輸）

5回目の開催となった『大阪インターナショナルチャレンジ2011』が終了です。今大会では日本バドミントン界の次代を担うであろう選手らの活躍が際立っていました。5月からはロンドン五輪の出場権を争う戦いが始まりますが、そうした世界との熾烈な戦いには、バックアップメンバーの充実も重要です。厚い選手層を構築するための強化が順調であることをうかがわせる大会でした。

（取材/文　ライター・佐藤純郎）

「被災地を応援したい！」
～チャリティイベントを開催～

今年の大会は、3月11日に起こった東日本大震災の影響で、大会参加を見送る国もあり、開催を危ぶむ声もありました。しかし、「被災地を応援したい。そのために皆が出来ることをしよう!」という役員・選手の熱意のもと、募金を兼ねたチャリティイベントとして大会を開催することができました。

日本チャンピオンの田児選手・廣瀬選手をはじめ、ナショナルチームの選手からラケット、ユニフォームの提供、さらにパナソニック（旧三洋電機）の選手からもユニフォーム、チームグッズの提供があり、チャリティオークションやサイン会を実施しました。

大会期間中のグッズ販売の売り上げは募金も合わせて約68万円もの金額が集まりました。

この皆さんからの思いは、日本バドミントン協会を通じて、東日本大震災への義援金として寄付されました。ご協力ありがとうございました。

あれから1年が過ぎましたが、被災地では復興にまだまだ時間がかかります。引き続き皆さんのご支援をお願いします。



3月1日、全4チャンネルBS放送開始

J SPORTS

今なら

J SPORTS BS放送 視聴料 最大2ヶ月無料!



受付期間 2012年5月30日まで（加入手続き完了分）

スカパー！e2新規加入時に「J SPORTS 1+2+3+4」セット（月額 2,400円）をご契約され、3ヶ月以上ご継続される個人契約の方が対象となります。
スカパー！加入料（初回のみ2,940円）、スカパー！基本料（月額410円）が別途かかります。

ご視聴は BS ▶「番組表」▶「J SPORTS 1・2・3・4（BS Ch.242-245）」を選局

BWFスーパーシリーズなどの国際大会や日本リーグも放送！





バドミントン大阪インターナショナルチャレンジ2012
J SPORTSで決勝の模様を放送!

4/10（火）#1 15:55~18:00 J SPORTS 1 初回	4/17（火）#1 6:00~8:00 J SPORTS 3 再放送	4/24（火）#1 12:30~14:30 J SPORTS 1 再放送
4/11（水）#2 15:55~17:55 J SPORTS 1 初回	4/19（木）#2 6:00~8:00 J SPORTS 3 再放送	4/24（火）#2 14:30~16:30 J SPORTS 1 再放送
4/12（木）#3 15:55~16:55 J SPORTS 1 初回	4/20（金）#3 7:00~8:00 J SPORTS 3 再放送	4/24（火）#3 16:30~17:30 J SPORTS 1 再放送

※放送内容は変更になる場合があります。

今後のラインナップ
■国別対抗戦トマス・ユーバー杯生中継中心にお届け!
■スーパーシリーズプレミア、YONEX OPEN JAPAN、日本リーグなど続々登場!

詳細は J SPORTS バドミントン 検索

@jsports_shuttle
ハッシュタグ #jspobadminton

photo:アフロ

J SPORTSはスカパー!、スカパー!e2、ケーブルテレビでご覧いただける国内最大4チャンネルのスポーツテレビ局です。

デジタルテレビがあれば最短で即日視聴可能！お申し込みはカンタン！今すぐお電話かWEBで！

0120-097-992
受付時間 10:00~20:00（年中無休）
おかけ間違いのないように。ご視聴にはBSアンテナが必要です。

24時間いつでも申込可能
http://spjs.jp/jsbs/ J SPORTS BS 検索

※個人情報の取扱い規定につきましては、プライバシーポリシー（http://www.e2sptv.jp/privacypolicy/）に記載しております。

スカパー!

LIST OF WINNER 2007-2011

大阪インターナショナルチャレンジ　歴代優勝・準優勝者

2007

MS men's singles

1	SASAKI Sho	佐々木　翔	北都銀行
2	SATO Shoji	佐藤　翔治	NTT東日本

MD men's doubles

1	HAN Sang Hoon CHO Gun Woo	韓　相訓 曺　建雨	韓国
2	ENDO Hiroyuki HIROBE Yoshiteru	遠藤　大由 廣部　好輝	日本ユニシス

WS women's singles

1	HIROSE Eriko	廣瀬　栄理子	三洋電機
2	YONEKURA Kanako	米倉　加奈子	ヨネックス

WD women's doubles

1	MATSUDA Tomomi AKAO Aki	松田　友美 赤尾　亜希	ヨネックス
2	OGURA Kumiko SHIOTA Reiko	小椋　久美子 潮田　玲子	三洋電機

XD mixed doubles

1	MASUDA Keita MAEDA Miyuki	舛田　圭太 前田　美順	トナミ運輸 NEC九州
2	CHO Gun Woo HONG Soo Jung	曺　建雨 洪　水晶	韓国

2008

MS men's singles

1	SAEKI Koichi	佐伯　浩一	NTT東日本
2	SAENSOMBOONSUK Tanongsak	タノンサック・サエンソンボーンスク	タイ

MD men's doubles

1	KO Sung Hyun KWON Yi Goo	黒瀬　尊敏 権　利九	韓国
2	KAWAGUCHI Keisi KAWAMAE　Naoki	川口　馨士 川前　直樹	NTT東日本

WS women's singles

1	TARUNO Megumi	樽野　恵	NTT東日本
2	SEKIYA Mayu	関谷　真由	早稲田大学

WD women's doubles

1	OGURA Kumiko SHIOTA Reiko	小椋　久美子 潮田　玲子	三洋電機
2	HA Jung Eun KIM Min Jung	河　貞恩 金　旼貞	韓国

XD mixed doubles

1	KWON Yi Goo HA Jung Eun	権　利九 河　貞恩	韓国
2	HIRATA Noriyasu MATSUO Shizuka	平田　典靖 松尾　静香	トナミ運輸 三洋電機

2009

MS men's singles

1	LEE Cheol Ho	李　喆鎬	韓国
2	SHON Wan Ho	孫　完虎	韓国

MD men's doubles

1	HIROBE Yoshiteru KOMIYAMA Hajime	廣部　好輝 小宮山　元	日本ユニシス
2	HASHIMOTO Hirokatsu HIRATA Noriyasu	橋本　博且 平田　典靖	トナミ運輸

WS women's singles

1	GOTO Ai	後藤　愛	NTT東日本
2	KIM Moon Hi	金　紋希	韓国

WD women's doubles

1	MATSUTOMO Misaki TAKAHASHI Ayaka	松友　美佐紀 髙橋　礼華	日本ユニシス
2	MORI Kaori WAKISAKA Aya	森　かおり 脇坂　郁	三洋電機

XD mixed doubles

1	HSIEH Yu Hsin CHIEN Yu Chin	謝　裕興 簡　毓瑾	台北
2	HIRATA Noriyasu MATSUO Shizuka	平田　典靖 松尾　静香	トナミ運輸 三洋電機

2010

MS men's singles

1	SASAKI Sho	佐々木　翔	トナミ運輸
2	YAMADA Kazushi	山田　和司	日本ユニシス

MD men's doubles

1	HASHIMOTO Hirokatsu HIRATA Noriyasu	橋本　博且 平田　典靖	トナミ運輸
2	ENDO Hiroyuki HIROBE Yoshiteru	遠藤　大由 廣部　好輝	日本ユニシス

WS women's singles

1	WANG Rong	王蓉	マカオ
2	IMABEPPU Kaori	今別府　香里	三洋電機

WD women's doubles

1	FUJII Mizuki KAKIIWA Reika	藤井　瑞希 垣岩　令佳	ルネサスSKY
2	MATSUTOMO Misaki TAKAHASHI Ayaka	松友　美佐紀 髙橋　礼華	日本ユニシス

XD mixed doubles

1	HAYAKAWA Kenichi MATSUO Shizuka	早川　賢一 松尾　静香	日本ユニシス 三洋電機
2	HASHIMOTO Hirokatsu FUJII Mizuki	橋本　博且 藤井　瑞希	トナミ運輸 ルネサスSKY

2011

MS men's singles

1	SONODA Keigo	園田　啓悟	トナミ運輸
2	ZENIYA Sho	銭谷　翔	トナミ運輸

MD men's doubles

1	KUROSE Takatoshi SONODA Keigo	黒瀬　尊敏 園田　啓悟	トナミ運輸
2	WADA Shu WATANABE Tatsuya	和田　周 渡邊　達哉	日本体育大学

WS women's singles

1	MITANI Minatsu	三谷　美菜津	NTT東日本
2	TARUNO Megumi	樽野　恵	NTT東日本

WD women's doubles

1	ICHIMARU Miri TANAKA Shiho	市丸　美里 田中　志穂	法政大学
2	MIKI Yuriko YONEMOTO Koharu	三木　佑里子 米元　小春	パナソニック

XD mixed doubles

1	KAMURA Takeshi YONEMOTO Koharu	嘉村　健士 米元　小春	早稲田大学 パナソニック
2	KAWAGUCHI Keisuke OGURA Shinobu	川口　佳介 小椋　しのぶ	トリッキーパンダース 三菱電機





彩り華やかな料理がすべて食べ放題！

ザ・パークビュー バイキング



色とりどりサラダ



チョコレートファウンテン



ピザ



デザート

約20種のサラダバーに、パスタやピザ、肉・魚料理、
土・日・祝日にはお子さまに人気の海老フライや、チキンバスケットも！
パティシエ特製デザートは約15種類！

M CLUB 会員さま特典
ソフトドリンク飲み放題
（通常¥300）

その日のオススメを日替わりで！

パスタ	あったか温製料理
トマトとバジルのトマトソース と	ショートパスタのオーブン焼き と
•高菜入り和風パスタ	•若鶏のクリーム煮込み
•海老と春野菜のペペロンチーノ	•豚肉のソテー オニオンソース
•じゃこと青菜の和風パスタ	•サーモンムニエル
•ハムとカリフラワーのクリームパスタ など	•鯖のチーズ焼き など

2012年 4/1(日)～4/30(振休)

ザ・パークビュー ランチバイキング
約70種食べ放題！【90分】

◆平　　日〈1部〉11:30A.M.～〈2部〉1:20P.M.～
◆土・日・祝日〈1部〉11:00A.M.～〈2部〉11:30A.M.～〈3部〉12:50P.M.～〈4部〉1:20P.M.～

ザ・パークビュー ファミリーディナーバイキング
約80種食べ放題！ 土・日・祝日限定【120分】

◆土・日・祝日〈1部〉5:00P.M.～〈2部〉7:10P.M.～

お食事券やおもちゃが当たる！
土・日・祝日ディナータイムは
ビンゴゲーム大会！



小学生・幼児（4歳以上）のお子さまにはビンゴカードを1枚プレゼント！

土・日・祝日 ディナーバイキング限定メニュー



ボイルずわい蟹・紅ずわい蟹



握り寿司



ビーフ鉄板焼き

料金1名さま		ランチ	ディナー［土・日・祝日］
おとな	通　常	¥1,900	¥3,300
	ケータイメール会員	¥1,800	¥3,000
シニア	通　常	¥1,700	¥2,600
	ケータイメール会員	¥1,600	¥2,500
小学生	通　常	¥1,000	¥1,650
	ケータイメール会員	¥900	¥1,500
幼　児	通　常	¥500	¥800
	ケータイメール会員	¥400	¥750

※シニア：65歳以上　※幼児：4歳～小学生未満

ケータイメール会員募集中！ 登録無料
レストラン割引などお得な情報が届きます。
守口ロイヤルパインズホテル
ケータイメール会員
エムズファン
M's FAN
QRコードを読み取り空メールを送信してください。
または、下記アドレスに空メールを送信してください。
members@mmg.royalpines.co.jp

※料金には、いずれも税金が含まれております。※【M CLUB会員特典】をご利用の際は、会員カードをご提示ください。※【ケータイメール会員特典】をご利用の際は、会員証画面をご提示ください。
※守口ロイヤルパインズホテルでは、国産米を使用しております。

守口ロイヤルパインズホテル
大阪から京都から、ひとつの路線で。京阪電車守口市駅直結
■お問合せ・ご予約は、レストラン予約係まで（9:00A.M.～7:00P.M.）
TEL.(06)6994-1185
〒570-0038 大阪府守口市河原町10-5
守口ロイヤルパインズホテル　検索

LIST OF COMPETITORS
出場予定選手

JAPAN

氏　名	ヨミガナ	所属	出場種目	種目別出場基準
山田　和司	ヤマダ　カズシ	日本ユニシス	MS	NT/MS
武下　利一	タケシタ　リイチ	トナミ運輸	MS	NT/MS
和田　周	ワダ　シュウ	日本体育大学4年	MS, MD	NT/MS, NR/MD
桃田　賢斗	モモタ　ケント	富岡高校3年	MS	NT/MS
坂井　一将	サカイ　カズマサ	日本ユニシス	MS	NB/MS
園田　啓悟	ソノダ　ケイゴ	トナミ運輸	MS, MD	NB/MS, MD
銭谷　翔	ゼニヤ　ショウ	トナミ運輸	MS, MD	NB/MS, NR/MD
渡邊　達哉	ワタナベ　タツヤ	日本体育大学3年	MS, MD	NB/MS, NR/MD
竹内　宏気	タケウチ　ヒロキ	NTT東日本	MS	NB/MS
古賀　輝	コガ　アキラ	早稲田大学1年	MS, MD	NB/MS, MD
金子　祐樹	カネコ　ユウキ	埼玉栄高校3年	MS, MD	NB/MS, MD
井上　拓斗	イノウエ　タクト	埼玉栄高校3年	MS, MD	NB/MS, MD
西本　拳太	ニシモト　ケンタ	埼玉栄高校3年	MS	NJ/MS
小林　優吾	コバヤシ　ユウゴ	富岡高校2年	MS	NJ/MS
五十嵐　優	イガラシ　ユウ	埼玉栄高校2年	MS, MD	NJ/MS, MD
松本　康平	マツモト　コウヘイ	埼玉栄高校2年	MS, MD	NJ/MS, MD
古賀　穂	コガ　ミノル	富岡高校1年	MS	NJ/MS
廣部　好輝	ヒロベ　ヨシテル	日本ユニシス	MD	NT/MD
數野　健太	カズノ　ケンタ	日本ユニシス	MD	NT/MD
佐伯　祐行	サエキ　ヒロユキ	日本ユニシス	MD, XD	NB/MD, XD
垰畑　亮太	タオハタ　リョウタ	日本ユニシス	MD, XD	NB/MD, XD
嘉村　健士	カムラ　タケシ	トナミ運輸	MD, XD	NB/MD, XD
星野　翔平	ホシノ　ショウヘイ	日本体育大学3年	MD	NB/MD
小林　晃	コバヤシ　アキラ	日本体育大学3年	MD	NB/MD
齋藤　太一	サイトウ　タイチ	早稲田大学1年	MD	NB/MD
松居　圭一郎	マツイ　ケイイチロウ	富岡高校3年	MD, XD	NJ/MD, XD
三浦　光將	ミウラ　コウショウ	東奥学園高校3年	MD, XD	NJ/MD, XD
福田　卓郎	フクダ　タクロウ	水島工業高校3年	MD	NJ/MD
吉川　英太郎	ヨシカワ　エイタロウ	関東第一高校3年	MD, XD	NJ/MD, XD
保木　卓朗	ホキ　タクロウ	富岡高校2年	MD	NJ/MD
中里　裕貴	ナカザト　ユウキ	埼玉栄高校2年	MD	NJ/MD
稲光　勇太	イナミツ　ユウタ	埼玉栄高校2年	MD, XD	NJ/MD, XD
馬場　湧生	ババ　ユウセイ	九州国際大学付属高校2年	MD, XD	NJ/MD, XD
安村　康介	ヤスムラ　コウスケ	トナミ運輸	MD	SP/MD
竹村　純	タケムラ　ジュン	JR北海道	MS	NR/MS
古財　和輝	コザイ　カズテル	トナミ運輸	MS, MD	NR/MS, SP/MD
池田　雄一	イケダ　ユウイチ	日本ユニシス	MS	NR/MS
黒瀬　尊敏	クロセ　タカトシ	トナミ運輸	MD	NR/MD
大鳴　一彰	オオシマ　カズアキ	日立情報通信エンジニアリング	MD	NR/MD
三橋　智希	ミツハシ　トモキ	日立情報通信エンジニアリング	MD	NR/MD
小町谷　輝	コマチヤ　ヒカル	東北マークス	MD	NR/MD
鈴木　大裕	スズキ　ダイスケ	東北マークス	MD	NR/MD
竹川　慶二	タケカワ　ケイジ	タダノ	MD	NR/MD
天野　真一	アマノ　シンイチ	タダノ	MD	NR/MD
権藤　公平	ゴンドウ　コウヘイ	日本体育大学3年	MD	NR/MD
塚本　好喜	ツカモト　ヨシキ	日本体育大学3年	MD	NR/MD
早坂　幸平	ハヤサカ　コウヘイ	JR北海道	MD	NR/MD
高島　雅彦	タカシマ　マサヒコ	JR北海道	MD, XD	NR/MD, XD
山崎　裕太	ヤマサキ　ユウタ	日立情報通信エンジニアリング	MD	NR/MD
山村　駿介	ヤマムラ　シュンスケ	日本大学4年	MD	NR/MD
伊東　克範	イトウ　カツノリ	金沢学院クラブ	MD	NR/MD
山東　亮太	サンドウ　リョウタ	金沢学院クラブ	MD	NR/MD
川口　佳介	カワグチ　ケイスケ	トリッキーパンダース	XD	NR/XD
小松崎　佑也	コマツザキ　ユウヤ	NTT東日本	XD	NR/XD
堂本　克樹	ドウモト　カツキ	パナソニック鳥取	XD	NR/XD
櫻井　勝仁	サクライ　カツヒト	トリッキーパンダース	XD	NR/XD
諸多　大輔	モロタ　ダイスケ	東北マークス	XD	NR/XD
大滝　祐紀	オオタキ　ユウキ	東海興業	XD	NR/XD

氏　名	ヨミガナ	所属	出場種目	種目別出場基準
奥原　希望	オクハラ　ノゾミ	大宮東高校3年	WS	NT/WS
打田　しづか	ウチダ　シヅカ	日本ユニシス	WS	NB/WS
髙橋　沙也加	タカハシ　サヤカ	パナソニック	WS	NB/WS
橋本　由衣	ハシモト　ユイ	NTT東日本	WS	NB/WS
玉木　絵里子	タマキ　エリコ	早稲田大学4年	WS	NB/WS
福島　由紀	フクシマ　ユキ	ルネサス	WS, WD	NB/WS, SP/WD
大堀　彩	オオホリ　アヤ	富岡高校1年	WS, WD	NB/WS, WD
山口　茜	ヤマグチ　アカネ	勝山南部中学校3年	WS, WD	NB/WS, WD
福万　尚子	フクマン　ナオコ	パナソニック	WS, WD	NB/WS, WD
與猶　くるみ	ヨナオ　クルミ	パナソニック	WS, WD	NB/WS, WD
鳥居　彩乃	トリイ　アヤノ	聖ウルスラ学院英智高校3年	WS, WD	NJ/WS, WD
星　千智	ホシ　チサト	金沢向陽高校2年	WS, WD	NJ/WS, WD
櫻本　絢子	サクラモト　アヤコ	鳥取敬愛高校2年	WS, WD	NJ/WS, WD
永田　麗	ナガタ　レイ	青森山田高校2年	WS, WD	NJ/WS, WD
加藤　美幸	カトウ　ミユキ	倉敷中央高等学校2年	WS	NJ/WS
三木　佑里子	ミキ　ユリコ	パナソニック	WD	NB/WD
米元　小春	ヨネモト　コハル	パナソニック	WD, XD	NB/WD, XD
久後　あすみ	クゴ　アスミ	ルネサス	WD, XD	NB/WD, XD
横山　めぐみ	ヨコヤマ　メグミ	ルネサス	WD, XD	NB/WD, XD
渡邉　あかね	ワタナベ　アカネ	埼玉栄高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
上野　亜実	ウエノ　アミ	岐阜商業高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
早田　紗希	ハヤタ　サキ	富岡高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
廣田　彩花	ヒロタ　サヤカ	玉名女子高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
中村　麻裕	ナカムラ　マユ	九州国際大学付属高校3年	WD, XD	NJ/WD, XD
瀬川　桃子	セガワ　モモコ	埼玉栄高校2年	WD	NJ/WD
田村　千秋	タムラ　チアキ	ヨネックス	WS	SP/WS
峰　歩美	ミネ　アユミ	ルネサス	WS	SP/WS
土井　杏奈	ドイ　アンナ	ヨネックス	WS, WD	SP/WS, WD
原　麻衣子	ハラ　マイコ	ルネサス	WS	SP/WS
柏原　未久	カシワバラ　ミク	ヨネックス	WS	SP/WS
亀谷　望	カメタニ　ノゾミ	ヨネックス	WS	SP/WS
宮内　唯	ミヤウチ　ユイ	ルネサス	WD	SP/WD
阿萬　絵里香	アマン　エリカ	ヨネックス	WD	SP/WD
関谷　真由	セキヤ　マユ	パナソニック	WS	NR/WS
楠瀬　由佳	クスノセ　ユカ	北都銀行	WS	NR/WS
伊東　可奈	イトウ　カナ	ルネサス	WS	NR/WS
野尻野　匡世	ノジリノ　マサヨ	日本ユニシス	WS	NR/WS
脇田　侑	ワキタ　ユウ	岐阜トリッキーパンダース	WD	NR/WD
江藤　理恵	エトウ　リエ	岐阜トリッキーパンダース	WD	NR/WD
今別府　靖代	イマベップ　ヤスヨ	ヨネックス	WD	NR/WD
小池　温子	コイケ　アツコ	広島ガス	WD	NR/WD
田中　志穂	タナカ　シホ	法政大学2年	WD	NR/WD
市丸　美里	イチマル　ミリ	法政大学2年	WD	NR/WD
馬上　愛実	モウエ　エミ	北都銀行	WD	NR/WD
下﨑　彩	シモザキ　アヤ	北都銀行	WD	NR/WD
小椋　しのぶ	オグラ　シノブ	三菱電機	XD	NR/XD
新玉　美郷	アラタマ　ミサト	NTT東日本	XD	NR/XD
藤原　由衣	フジワラ　ユイ	パナソニック鳥取	XD	NR/XD
後藤　佳代	ゴトウ　カヨ	JR北海道	XD	NR/XD
吉村　征美	ヨシムラ　マサミ	岐阜トリッキーパンダース	XD	NR/XD
今井　杏莉	イマイ　アンリ	七十七銀行	XD	NR/XD
服部　麻衣	ハットリ　マイ	七十七銀行	XD	NR/XD

※日本代表選手の所属先は2012年4月1日現在のものです。
※[日本代表選手]の選考基準について
1.ナショナルチーム選手
2.ナショナルバックアップチーム選手
3.2012年2月10日付け日本ランキング16位までの選手
4.ジュニア強化部推薦選手
5.協賛企業・推薦選手

6.略号解説
NT: ナショナルチーム
NB: ナショナルBチーム
NR: 日本ランキング
NJ: ジュニア強化部
SP: 協賛企業・推薦

CHINA (20)

Surname/FirstName	漢字表記	出場種目
LU Qicheng	盧启成	MS, MD
GU Chao		MS, MD
HE Lilu	何流	MS, MD
YANG Fan	杨帆	MS, MD
CHEN Mingyu	陈明宇	MS, MD
XU Xinyi	徐辛一	MS, MD
YU Jun Jie	于俊杰	MD, XD
XIE Yiji	謝奕吉	MD, XD
YU Hao	于昊	MD, XD
WU Junchao		MD, XD
KANG Yiling	康依苓	WS, WD
JIANG Yujing		WS, WD
GUAN Xin		WS, WD
CHEN Tingting	陳婷婷	WS, WD
HU Minyu		WD, XD
LIU Ying Chun	刘迎春	WD, XD
LIU Mengyi	刘梦怡	WD, XD
XU Wenfei		WD, XD

INDONESIA (28)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
DHARMA Alrie Guna	アルリー・グナ・ダルマ	MS
JORDY Haikal	ハイカル・ジョルディー	MS
SUBAGJA Riyanto	リヤント・スバグジャ	MS
EVERT Sukamta	スカンタ・エバート	MS
MARTEEN Andre	アンドレ・マーティン	MS
JORDAN Paraveen	パラフィーン・ジョーダン	MD
JUANG Digit	ディギット・ジュアング	MD
SUBAKTIAR Edi	エディ・スバクティアル	MD
ADIARTAMA Arya Maulana	アリャ・マウラナ・アディアルタマ	MD
PUTRA Agripinna Prima Rahmanto	アグリピナ・プリマ・ラーマント・プトラ	MD
FERNALDI Gideon Markus	ギデオン・マルクス・フェルナルディ	MD
RUSDIANTO Christopher	クリストファー・ルスディアント	MD
ADISTIA Andrei	アンドレイ・アディスティア	MD
ULINNUHA Muhammad	ムハンマド・ウリンヌハ	MD
SUWARDI Ricky Karanda	リッキー・カランダ・スワルディ	MD
ANGRIAWAN Berry	ベリー・アングリアワン	MD
ADIANTO Rahmat	ラーマト・アディアント	MD
FADHILAH Irfan	イルファン・ファディラー	XD
WIDIANTO Riky	リキー・ウィディアント	XD
MANUPUTI Belaetrix	ベラエトリックス・マヌプティ	WS
DESI Hera	ヘラ・デシ	WS
MAINAKY Lyanny Alessandra	リアニー・アレッサンドラ・マイナキー	WS
NURAIDAH Tiara Rosalia	ティアラ・ロサリア・ヌライダー	WD
IMAWAN Gebby Ristiyani	ゲビー・リスティヤニ・イマワン	WD
DEWI Komala	コマラ・デウィ	WD
GOZALI Jenna	ジェンナ・ゴザリ	WD
ANGGRAINI Weni	ウェニ・アングライニ	XD
DILIPuspita Richi	プスピタ・リチ・ディリ	XD

IRAN (2)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
KHERADMANDI Mohammadreza	モハマドレザ・ケラドマンディ	MS
ESKANDARI Vatannejad-Soroush	ヴァタネジャド・ソロウシュ・エスカンダリ	MS

ITALY (1)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
MADDALONI Rosario	ロザリオ・マッダローニ	MS

KOREA (15)

Surname/FirstName	漢字表記	出場種目
LEE Dong Keun	李東根	MS
HA Young Woong	河榮雄	MS, XD
JOO Hyun Joon	朱泫俊	MS
Lee Hong Je	李洪濟	MS
LEE Sang Joon	李相俊	MD, XD
CHOI Young Woo	崔永又	MD, XD
KIM Soo Jin	金秀珍	WS
JUNG Mi Jin	鄭美鎭	WS
PARK So Young	朴紹英	WS
KIM Ye Ji	金藝智	WS, WD
CHAE Hyun Hee	蔡賢憙	WS, WD
LEE So Hee	李紹希	WD, XD
SHIN Seung Chan	申昇瓚	WD
KO A Ra	高我羅	WD, XD
CHAE Yoo Jung	蔡侑玎	WD, XD

MACAU (2)

Surname/FirstName	カタカナ表記	漢字表記	出場種目
WANG Rong	ワン・ロン	王蓉	WD
ZHANG Zhibo	ツァン・ツィーボ	張之博	WD

MALAYSIA (17)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
LIM Fang Yang	リム・ファンヤン	MS
MOHD ISMAIL Muhd Syawal	モハマド・シャワル・モハマド・イスマイル	MS
AYUB Nur Mohd Azriyn	ヌル・モハマド・アズリャン・アユブ	MS
SOONG Joo Ven	スーン・ジューヴェン	MS, MD
GOH Giap Chin	ゴー・ギャップチン	MS
TAN Kian Meng	タン・キャンメン	MS, MD
MAWAN Vountus Indra	ヴァウンタス・インドラ・マワン	MD
ABDUL KHALID Mohd Lutfi Zaim	モハマド・ルティフィ・ザイム・アブドゥル・カリド	MD
SHEN Low Juan	シェン・ロージュアン	MD
TAN Yip Jiun	タン・イップジャン	MD
SINGH Jagdish	ジャグディシュ・シン	MD
YEW Hong Kheng	ヨー・ホンキョン	XD
WONG Fai Yin	ウォン・ファイイン	XD
NG Florah, Sew Fong	ン・フロラー・スーフォン	WS, WD
NG Sin Er	ン・シンアー	WS, WD
NG Marylen Poau Leng	ン・マリレン・ポア・レン	WD
LAI Shevon Jemie	シェヴォン・ジェミー・ライ	WD, XD

MONGOLIA (6)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
ERDENEBULGAN Enkhbold	インフボルド・アーデネブルガン	MS
ENKHBOLD Erdenebayar	アーデネバヤル・インフボルド	MS, MD
TSOLMON Sharavjamts	シャラブジャンツ・ツォルモン	MS
MUNKHBAATAR Zolzaya	ゾルザヤ・ムンフバータル	MS, MD
UUGANBAYAR Dulguunbayar	ドゥルグウンバヤル・ウーガンバヤル	MS, MD
NARATSOGOO Munkhbayar	ムンフバヤル・ナラツォゴウ	MS, MD

PHILIPPINES (1)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
FLORES Christopher	クリストファー・フロアーズ	MS

SINGAPORE (11)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
GONANSA Robin	ロビン・ゴナンサ	MS
HUANG Chao	ファン・チャオ	MS, MD
NGO Yi Chye	ンゴ・イーチェ	MS, MD
ONG Soon Lee Gerald	オン・スーンリー・ジェラルド	MS, MD
MUHD Asraf B Ishak	ムハマド・アスラフ・B・イシャック	MS, MD
YEO Zhao Jiang Terry	ヨー・チャオ・ジャン・テリー	MD, XD
LIU Yi	リュウ・イ	MD, XD
LIANG Xiaoyu	リャン・シャオユー	WS
CHEN Jiayuan	チェン・ジャユアン	WD
YULIANA Dellis	デリス・ユリアナ	WD, XD
THNG Ting Ting	ソン・ティンティン	XD

CHINESE TAIPEI (26)

Surname/FirstName	カタカナ表記	漢字表記	出場種目
LIN Chia Hsuan	リン・チャーシュアン	林家翾	MS, MD
YANG Chih Chieh	ヤン・チーチェー	楊智傑	MS, MD
WAN Chia-Hsin	ワン・チャーシン	萬佳鑫	MS, MD
CHNEG Po Wei	チェン・ボーウェイ	程柏偉	MS, MD
SHIH Kuei Chun	シー・クェイチュン	施貴鈞	MS, MD
TENG Shih Hua	テン・シーファ	鄧世華	MS, MD
HUANG Po Jui	ファン・ボージュイ	黃柏睿	MS, MD
CHANG Kai Liang	チャン・カイリャン	張凱量	MS, MD
LU Ching Yao	ル・チンヤオ	盧敬堯	MS, MD
HUANG Chu-En	ファン・チューエン	黃主恩	MD, XD
LIN Chia Yu	リン・チャーユ	林家佑	MD, XD
LIAO Kuan Hao	リャオ・クアンハオ	廖冠皓	MD, XD
LIANG Jui Wei	リャン・ジュイウェイ	梁睿緯	MD, XD
CHEN Chung Jen	チェン・チュンジェン	陳中仁	MD, XD
LIAO Chun Chieh	リャオ・チュンチェー	廖峻傑	MD, XD
SU Yi Neng	スー・イーネン	蘇義能	MD
HSU Ya Ching	シュー・ヤーチン	許雅晴	WS
TANG Wan Yi	タン・ワンイ	唐琬貽	WS, WD
CHENG Chi Ya	チェン・チーヤ	程琪雅	WS, XD
PAI Yu Po	パイ・ユーポ	白馭珀	WS, WD
CHIANG Pei Hsin	チャン・ペイシン	江佩欣	WS, WD, XD
CHANG Ya Lan	チャン・ヤーラン	張雅嵐	WS
HUANG Mei Ching	ファン・メイチン	黃美菁	WD, XD
KUO Yu Wen	クオ・ユーウェン	郭浴雯	WD, XD
WU Ti Jung	ウー・ティジュン	吳玓蓉	WD, XD
SHUAI Pei Ling	シュアイ・ペイリン	帥佩伶	WD, XD

THAILAND (9)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
THAMMASIN Sittikhom	シットヒコム・タンマシン	MS
PHETPRADAB Khosit	コーシット・フェトプラダブ	MS
THONGNUAM Pannawit	パンナウィット・トンヌアム	MS
KITTINUPONG Ketlen	ケトレン・キッティヌポン	MD
DECHAPOL Puavaranukroh	プアヴァラヌクロー・デチャポン	MD, XD
KITTIHARAKUL Jongkonphan	ジョングコンファン・キッティハラクル	WD
ARKORNSAKUL Pacharakamol	パチャラカモル・アルコーンサクル	WD
HONGCHOOKEAT Wiranpatch	ウィランパッチ・ホンチューキート	WD, XD
SAPAJIRAKUL Puttita	プッティタ・サパジラクル	WD

TRINIDAD & TOBAGO (1)

Surname/FirstName	カタカナ表記	出場種目
BONKOWSKY Nicholas	ニコラス・ボンコウスキー	MS

OFFICIALS
オフィシャル

大会役員 TOURNAMENT OFFICERS

大会会長	綿貫民輔			
大会名誉顧問	松井一郎			
	生野照子			
	町田勝彦			
大会副会長	三宅祐司			
	籾井勝人			
大会顧問	森　喜朗	関谷勝嗣	森田　一	
	清水規矩雄	林　芳正	八木橋伸夫	佐藤　保
	塩川　甫	村上忠治	植田博宣	権田正一
	青木昭二	橋本角市	原二三雄	吹田修一
	毛利清志	平田登志郎	小宮淳宏	福岡幸一
	牧野　武	内多小五郎	濱中　誠	今北基夫
	伊豆　晃	村山幸雄	本郷節生	菊地利明
	岡本武利	里見光徳	山根　怜	佐藤芳朗
	野村嘉明	油井秀男	木村　寛	遠井稔男
	竹林克彦	藤本　滋	栗原　進	杉田　博
	金森義弘	吉田邦男	中村　弘	嵯峨　元
	日野　昇	礒井貞夫	手塚克彦	金森　正
	保坂和也	宮川忠和	瀬川欽也	中嶋光司
	上野　忠	山田一六	岡崎　彬	石田真敏
	澤　長壽	末岡照章	西野昌明	松岡正人
	加藤博司	田中田鶴子	有瀬浩一	瀧山一甫
	西森潮三	成相安信	相澤　潔	田村興造
	冨田　浩	本田正寛	谷口　章	池田　徹
	金城芳雄	近藤　稔	戸田清一	菅原周一
	川島一郎	岡村英男	星野忠男	松浦稔明
	藤田庸右	板垣隆房	関場　武	中尾昌由
	斉藤永吉	秋草直之	里脇清隆	小野　理
	帰山好和	野村明雄	村井広美	西谷一郎
	清水義雄	山本　稔	森　義和	宮林章三
	中原住雄	伊勢田善昭	藤原和文	
大会参与	真壁幹雄	原　紀征	藤原　航	鈴木勝之
	加藤寛治	築地孝彦	三井　裕	浜中　勉
	秋岡澄子	松王清志	島津八郎	石橋三彦
	四方光市	宮脇正晴	池田芳麻	片岡輝明
大会委員長	関根義雄			
大会副委員長	銭谷欽治			
大会委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	上原信彦
	佐竹養一	高橋英夫	千葉健夫	野村安忠
	村元英美	山田順一郎	福田　武	浅岡　武
	能登則男	木戸純一	河野幸男	西村健二
	神戸　照	中山紀子		
	河合　茂	池田紗千子	福森勝治	佐藤彰彦
	立花良明	川上隆庸	宇治　収	養父一太
	仲尾信一	月原　朗	武田文則	大住陽一
	金山在勇	廣瀬園子	喜多　努	西上正一
	谷田尚嗣	大西正彦	木村幸子	竹田由美子
	東條安彦	田村淳子	百野郁子	岡森　祐
	土居　毅	当山哲司	末藤かほる	松村一三
	田上敬子	大西富美昭	村上徹嗣	生田健一
	山本浩之	有田圭一	北野公男	小田耀子
	山本卓也	溝口光義	中留玉恵	鈴木大和
	片山裕章	坂口紗姫	竹内脩人	

大会運営委員 TOURNAMENT COMMITTIEES

運営委員長	関根義雄			
運営副委員長	銭谷欽治			
委員	今井茂満	山田順一郎	阿部秀夫	木戸純一
	高田　寿			
レフェリー	Vincent Lim Woon Chen			
ディプティレフェリー	小島博幸			
プレイヤーズセクレタリー	西　祐子	渡会葉々	阿由葉純代	高野直子
	有村英秦			

実行委員会競技役員 EVENT CONTROL in OSAKA

総括	銭谷欽治			
副総括	佐藤彰彦	福森勝治	廣瀬園子	大住陽一
総務担当	月原　朗	喜多　努	山本浩之	溝口光義
	仲尾信一	武田文則	西上正一	土居　毅
	岡森　祐	谷田尚嗣	養父一太	有田圭一
	村井広美	池田紗千子	片山裕章	東條安彦
	末藤かほる	竹田由美子	大森滋人	当山哲司
	上岡百合子	梶谷恵美代	植田玲子	林美津代
	永谷美穂	和田登美子	川内田和子	酒井素子
	中井真由美	坂江和枝	原田佳恵	荒本政美
	清水初音	西田百代	和田雅子	
救護担当	川上慶子	川那辺千恵美		
財務担当（兼務）	福森勝治	廣瀬園子	月原　朗	
広報担当	浅見　勇	宇治　収	大西正彦	宇佐見英治
競技担当	立花良明	木村幸子	生田健一	坂口紗姫
	関口淳也	中留玉恵	仲宗根真希子	中村智世
	中園由紀	沼間由美		
放送担当	田上敬子	小田耀子		
審判担当	川上隆庸			
国際審判	齊藤篤司	上野　誠	岩下真志郎	Wong Wai Lei
	Choi Jae Kung			
審判員	百野郁子	金山在勇	松村一三	上田　昇
	広瀬　統	河原吉伸	木村藤子	丸草智明
	土井誠子	玉久保政己	北野公男	田村淳子
	山本　剛	福島邦夫	田上典生	千葉政勝
	伊藤義次	高田真一郎	糸川公久	大西富美昭
	村上徹嗣	須田祥充	梅咲晴代	藤原恵一
	木村好徳	木下貴嗣	礒部光三	
	山田敏勝	吉村敏雄	林　栄子	松下禎子
	小倉美枝子	片岡昌子	中村祐子	栢野智子
	鹿島昌代	簏　真澄	石川亮子	米倉恵里
	真鍋稔乃	礒山浩美	生賀智恵子	成瀬慶子
	森本恵美	松井宏子	植田百合	久保多美子
	山形江里子	浜野美砂子	山下智子	渡辺明美
	辻野郁子	涌田則子	才野郁子	福崎まゆみ
	井脇和子	高見美紀	鈴木教子	辻村美樹
	赤松直紀	市来幸二	平井宏典	正岡　毅
	孝石　健	三坂裕士	大見康裕	孝石麻紀子
	桐原早苗	有園重光	大西みどり	永安仁詩
	楠本直樹	木村弘信	横井栄子	大植康裕
	池端康平	千葉信彦	永井　泉	森脇順子
	喜多広幸	福田美恵	畑中芳一	野牧善幸
	板倉恵子	小澤夏子	高田有佑	堤　一彦
	山田浩太郎	河村隆之	泉本柳子	竹田朋子
	徳本峰子	北原克彦	島田健一	楢崎　博
	寺坂庄二	今林秀和	折谷博幸	河合　茂
	鈴木大和	竹内脩人		

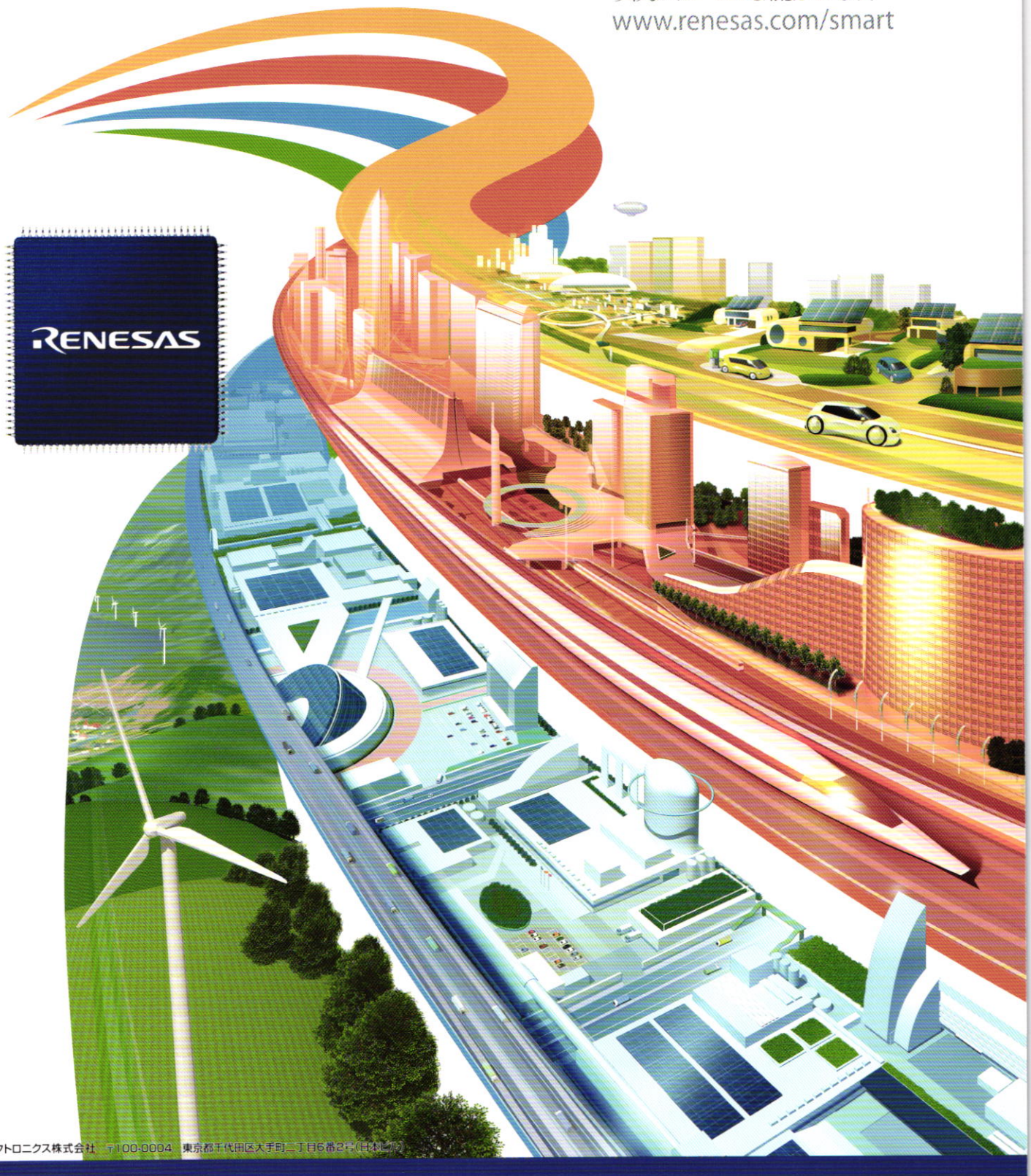
大会プログラム/ポスター
写真　田島　正
企画・デザイン　(有) ビーファクトリー

グリーン社会の未来へ、もっと速く。
ルネサス エレクトロニクスの半導体。

今、私たちには地球との共生を目指すグリーン社会の実現に向けて、
環境負荷が少ない製品づくりや、便利で安全なインフラ整備が求められています。
ルネサス エレクトロニクスは、マイコンを中心とする半導体と
各種ソリューションをグローバルに提供し、
お客様と共にグリーンな未来への近道を築いていきます。



スマート関連機器の早期開発を実現する
多彩なソリューションを用意しています。
www.renesas.com/smart



ルネサス エレクトロニクス株式会社　〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル)

RENESAS



地球のために。くらしのために。
パナソニックは、環境への取り組みを
ひとつひとつ進めていきます。

大切に受け継がれてきた世界遺産や、豊かで美しい自然、
そして、そのそばにあるたくさんのくらし。
モノづくりの力とエコアイディアで、すべてを未来へ
つなげていくこと。パナソニックには、そんな夢があります。
あらゆる事業活動の基軸に環境を置き、
CO_2の削減や資源を有効活用したモノづくりの追求、
さらに、水循環・化学物質の管理や生物多様性への貢献など、
環境行動計画「グリーンプラン2018」を策定し、実践していきます。
かけがえのない地球と、あなたの毎日のために。
これからも世界中で、様々なイノベーションを起こしていきます。

この星がよくなるアイディアだけを。

環境革新企業へのビジョンはこちらから
panasonic.co.jp/eco/ecoideas

Panasonic
ideas for life

eco
ideas

詳しくは パナソニック株式会社 ホームページで　panasonic.co.jp/eco